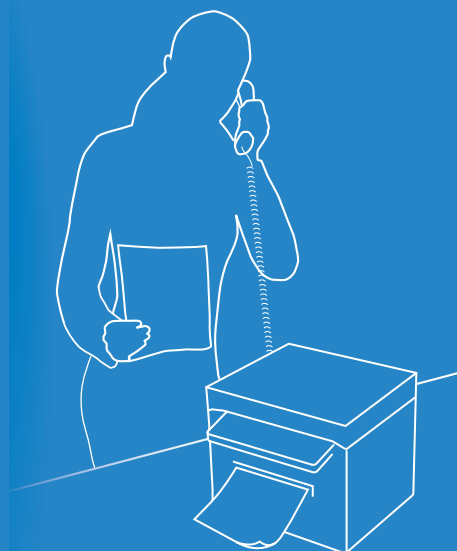
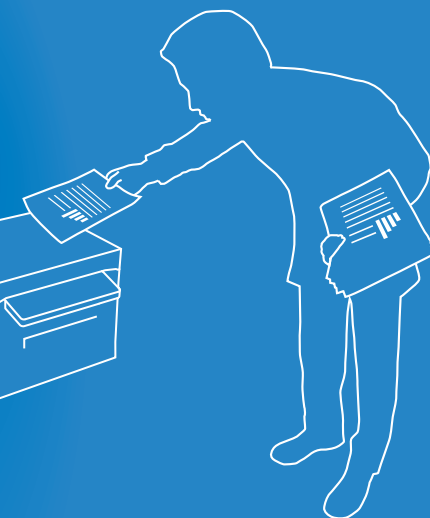
Canon

基本操作ガイド

Canofax L410

本製品の設置や接続の方法とソフトウェアのインストール方法は、かんたん設置ガイドをご覧ください。

- 本書には基本的な操作方法が書かれています。設置完了後にお読みください。
- 最初に「安全にお使いいただくために」（→P.93）をお読みください。
- 必要なときにいつでも使用できるように大切に保管してください。

本製品の詳細な使用法と製品仕様はUser Software CD-ROMに収められているe-マニュアルをご覧ください。 e-マニュアル

取扱説明書の分冊構成について

かんたん設置ガイド

かんたん設置ガイドは、本製品の設置や設定とソフトウェアのインストール方法について説明しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。

基本操作ガイド

基本操作ガイドは、一般的な使用方法やコピー、ファクス、印刷方法、基本的な機能について説明しています。

e-マニュアル

e- マニュアルは、本製品すべての機能と設定について説明しています。必要なときに検索機能を活用してお読みください。

Macintoshをお使いの方へ

本書ではコンピューターに関わる説明はWindowsを例として説明しています。
Macintosh用プリンタードライバー、ファクスドライバーの説明は、CD-ROMに収められているドライバーガイドと、各ドライバーの提供するヘルプを参照してください。

ドライバーガイドの格納場所

ドライバーガイドは、付属のUser Software CD-ROM の、下記フォルダーに収められているHTMLファイルをダブルクリックして表示します。

- Canon MF プリンタドライバ インストールガイド
  ➡ [**Documents**]-[**Print**]-[**Guide**]-[**index.html**]
- Canon ファクスドライバ インストールガイド
  ➡ [**Documents**]-[**FAX**]-[**Guide**]-[**index.html**]

ヘルプの実行方法

各ドライバー画面でヘルプアイコン(?)をクリックします。

本書の読みかた

マークについて

警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。
	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、操作するキー、本体ディスプレーに表示されるメッセージ、コンピューター画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- 操作パネル上のキー：［**キーアイコン**］＋（キー名称）
  例：[ ]（ストップ）
- 本体ディスプレー上のメッセージ：＜**メッセージ**＞
  例：＜**宛先を指定してください**＞
- コンピューター画面上のボタンや選択項目：［**選択項目**］
  例：［**詳細設定**］

おもな機能の紹介

画質調整

濃度、原稿の種類、シャープネスを
設定して画質を調整する

- コピー → P.31
- ファクス → P.50

拡大／縮小

- コピー → P.31
- プリント → P.38

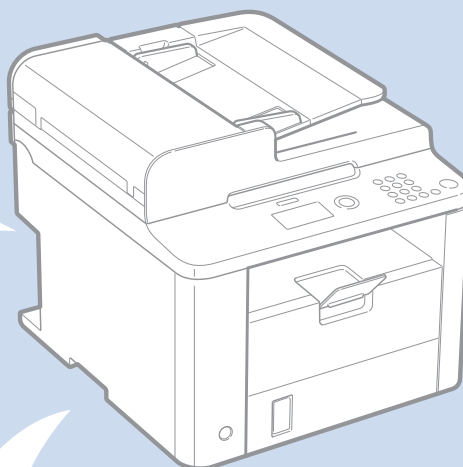
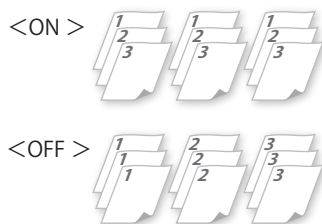
ページ集約

複数のページを1枚の用紙に
集約して印刷する

- コピー → P.34
- プリント → P.40

両面印刷

コピー、プリント、ファクスの内容
を両面印刷する

- コピー → P.33
- プリント → P.39
- ファクス → P.69

コピー

ソート → P.34
複数の文書をコピーするときにページ順に並べる

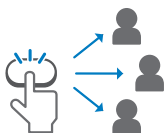
ID カードコピー → P.35
IDカードの両面を用紙の片面にコピーする

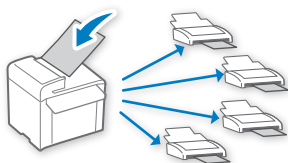
プリント

製本印刷 → P.41
- 2ページを片面に集約して両面印刷する
- 印刷物を2つ折りして製本すると、小冊子が作れる

ポスター印刷 → P.42
- 1ページを拡大して複数枚に分割印刷する
- 印刷物を貼り合わせると、ポスターが作れる

スタンプ印刷 → P.43
文書にCOPYやDRAFTなどのスタンプ文字を重ね合わせて印刷する

ファクス

ワンタッチ／短縮／グループダイヤル → P.54
ワンタッチ、短縮、グループダイヤルを活用して宛先を指定する

メモリー受信 → P.62
- 受信したファクスをメモリーに保存する
- すぐに印刷せずに、相手先を確認してから印刷したり転送したりできる

同報送信 → P.56
複数の宛先に同じ原稿を一度に送信する

タイマー送信 → P.57
あらかじめジョブを設定してメモリーに保存しておき、指定した時刻に送信する

ポーリング受信 →

相手先ファクス機にセットされている原稿を、呼び出して受信する

目次

基本的な操作

コピー

プリント

ファクス

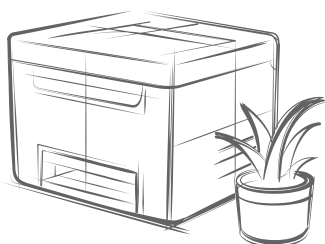
FAQs ? （→ **P.92**）

受信モードについて、よくある質問を参照できます。

メンテナンスと管理

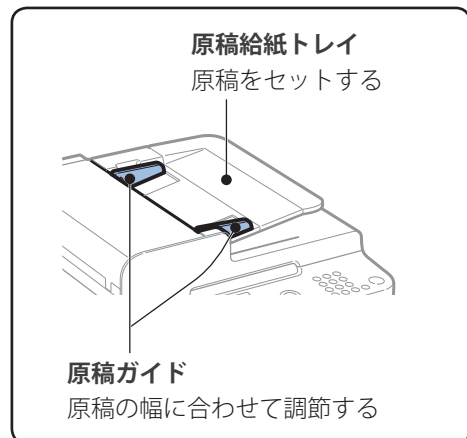
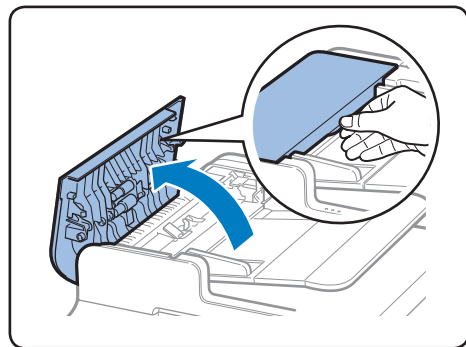
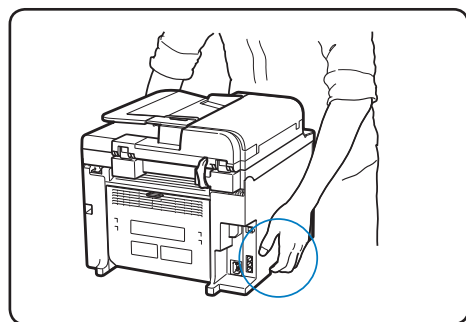
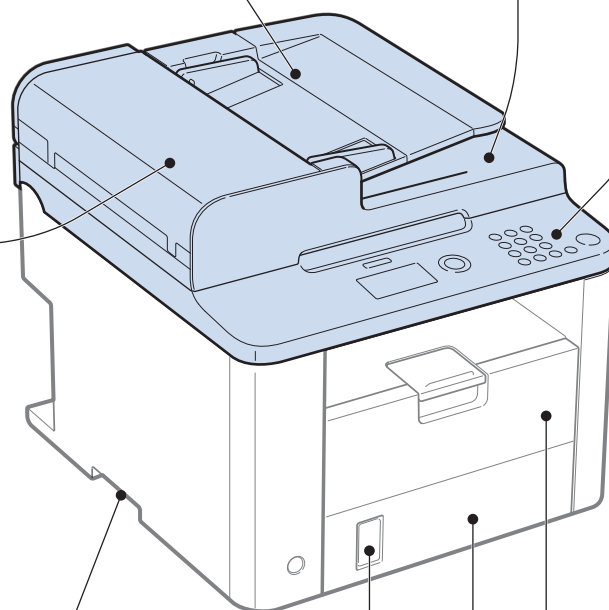
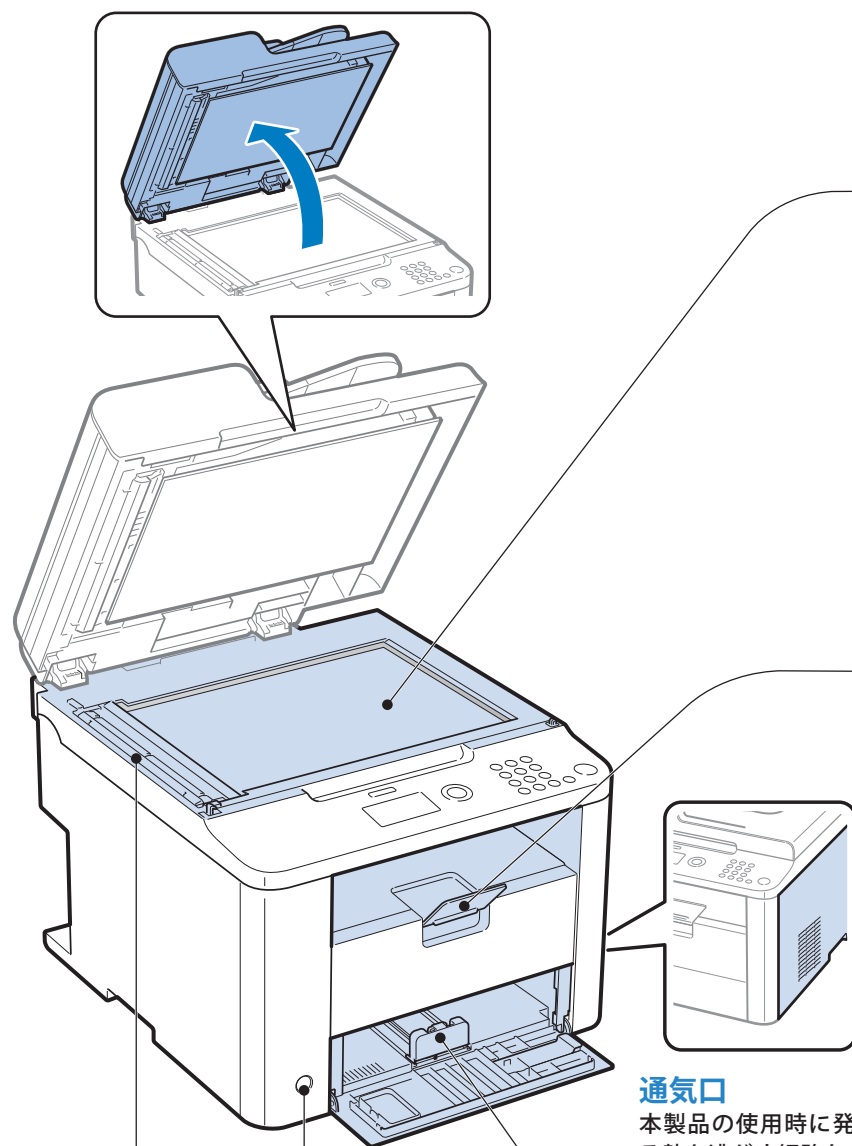
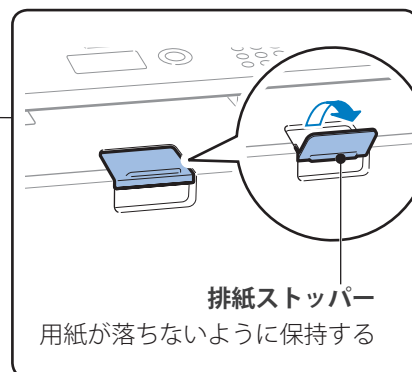
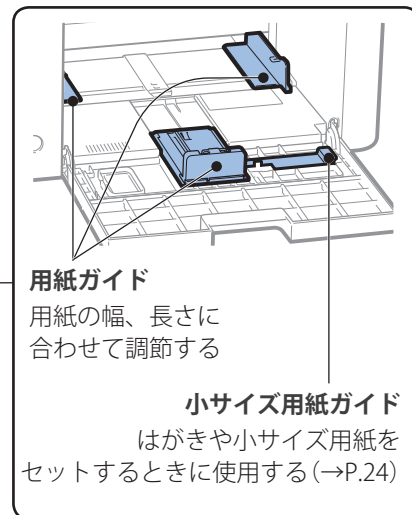
困ったときには

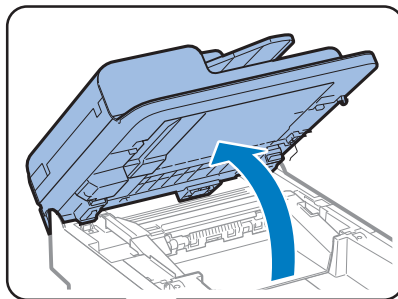
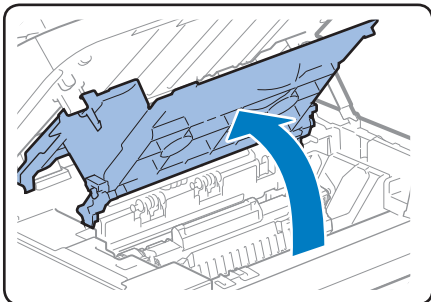
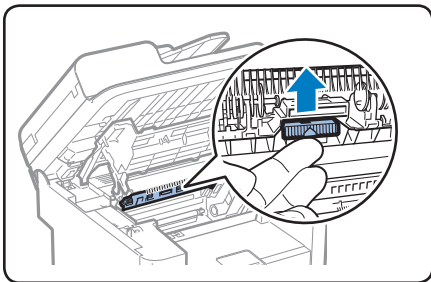
基本的な操作

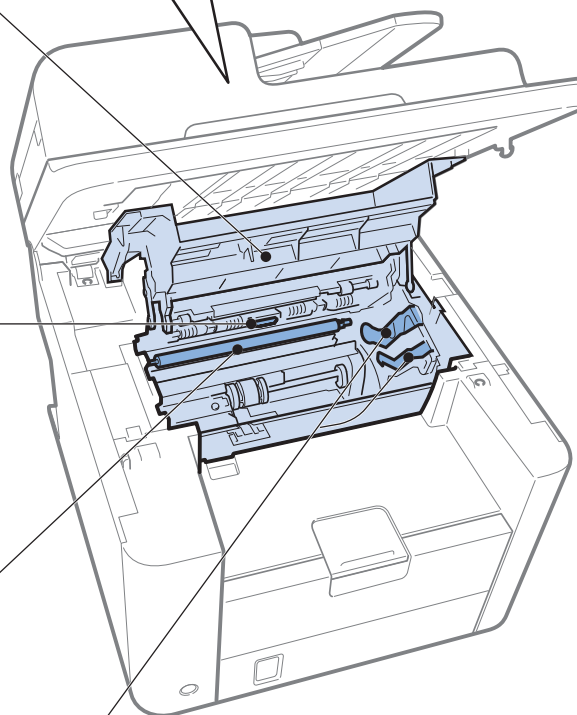
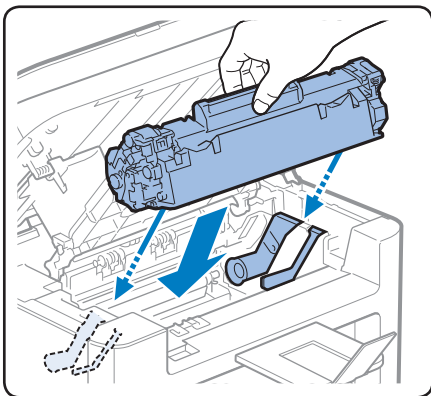
本製品の一般的な操作方法と原稿や用紙をセットする方法などを説明します。
これらを知っておくと、さまざまな機能をお使いになるときに役立ちます。

各部の名称と働き

前面

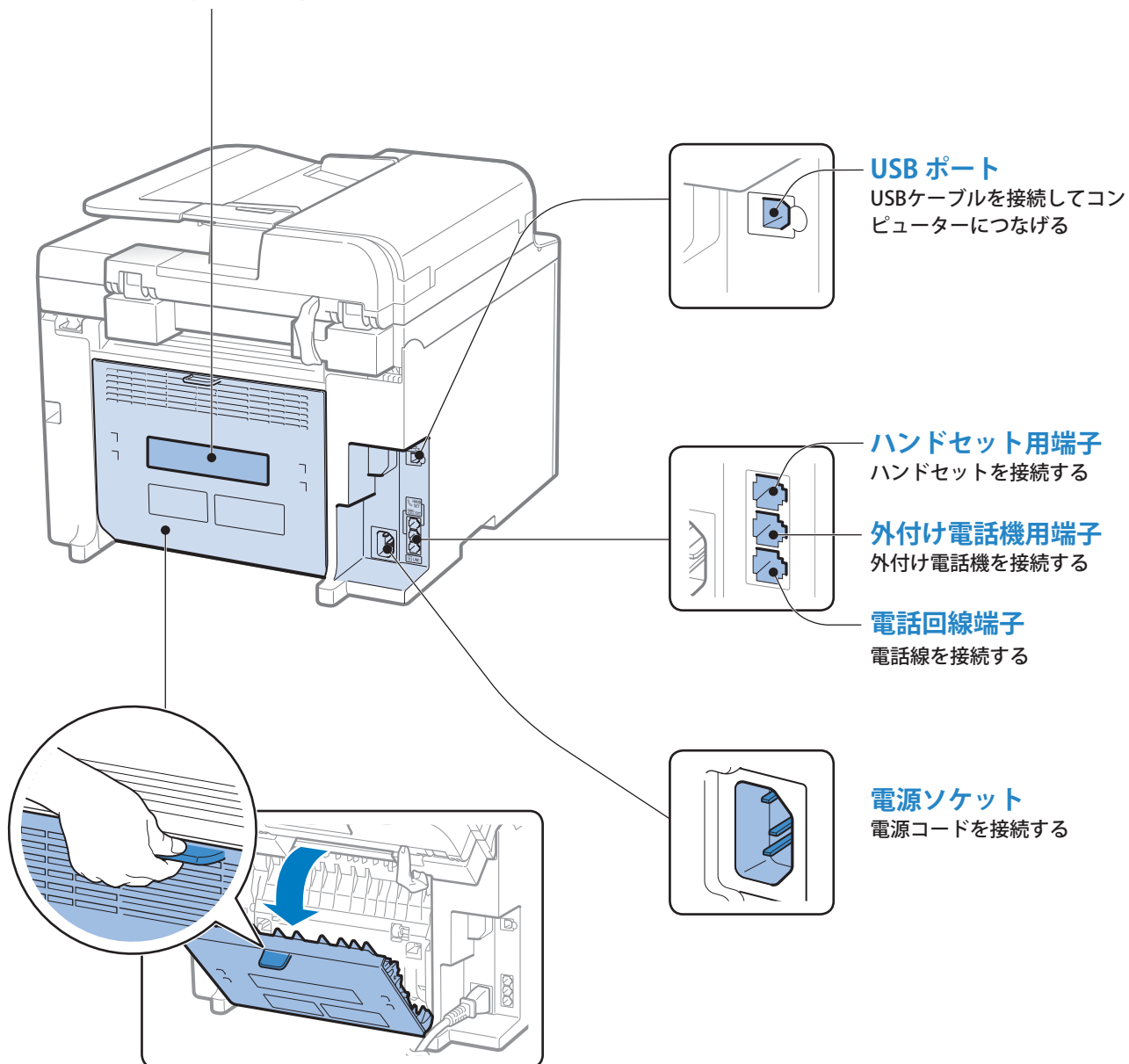
フィーダー

原稿を自動的に読み込む（→P.20）

原稿台ガラス
定形外の原稿や本などを読み取る場合に使用する（→P.20）
排紙トレイ
印刷された用紙が排出される
排紙ストッパー
用紙が落ちないように保持する
給紙カセット（自動給紙）
用紙をセットする（→P. 22）
用紙ガイド
用紙の幅、長さに合わせて調節する
小サイズ用紙ガイド
はがきや小サイズ用紙をセットするときに使用する（→P.24）
通気口
本製品の使用時に発生する熱を逃がす経路なので、周囲を10 cm以上空けるように注意する
フィーダー読み取りエリア
フィーダーにセットされた原稿を読み取る
電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりする

内部

トナーカバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開ける（→P.76、P.84）

排紙ガイド
つまった用紙を取り除くときに開ける（→P.84）

転写ローラー
トナーを用紙に転写させる

トナーカートリッジガイド
トナーカートリッジの左右にある突起をこのガイドに合わせて押し込む（→P.76）

背面

定格銘板ラベル
シリアル番号（アルファベット3文字と数字5桁の文字列）と
定格電圧と電流値が記載されている

後ろカバー
両面印刷中につまった用紙を取り除くときに開ける（→P.86）

操作パネルの使いかた

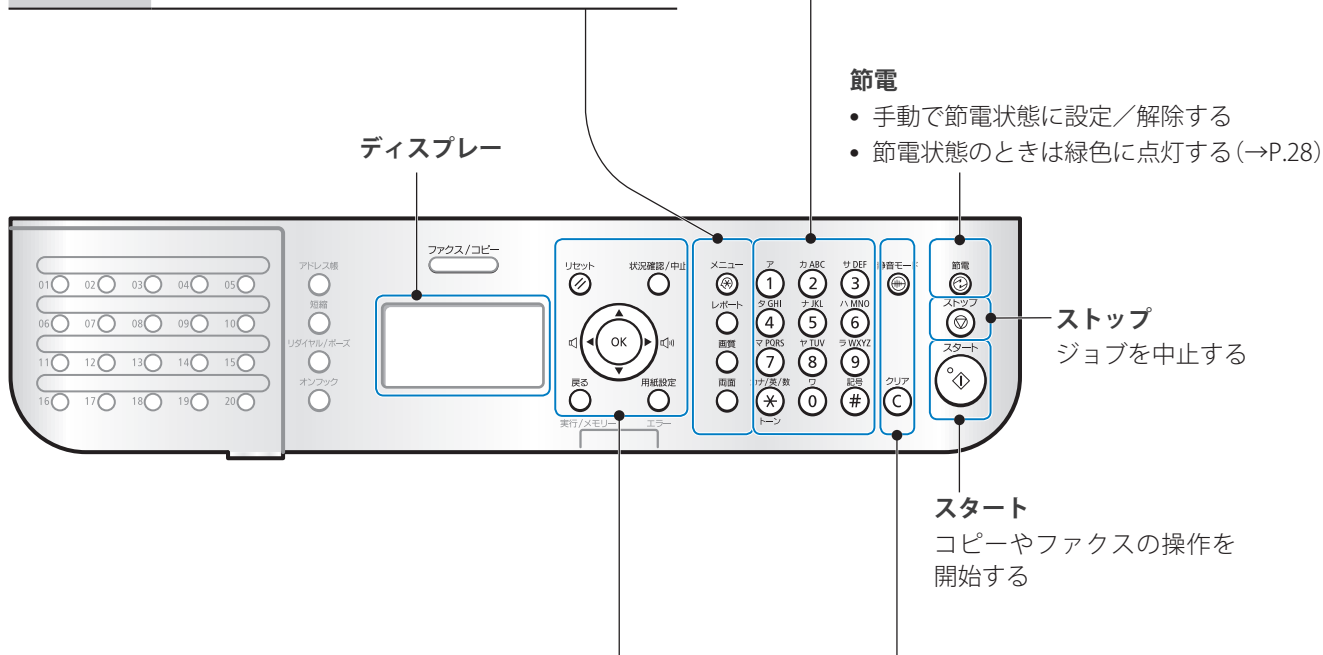
メニュー	メニューにある各種機能を使う（次のページ下部の「メニューの使いかた」を参照してください。）
レポート	レポートやリストを印刷する（→P.79）
画質	コピーの画質やファクスの解像度を選択するときに押す
両面	両面に印刷するときに押す

0～9（テンキー）	文字や数字を入力する
*	• 文字の入力モードを切り替える • ファクス送信時に、ダイヤル回線からトーン信号を発信する
#	記号を入力する

ディスプレー

節電
- 手動で節電状態に設定／解除する
- 節電状態のときは緑色に点灯する（→P.28）

ストップ
ジョブを中止する

スタート
コピーやファクスの操作を開始する

リセット	設定をリセットする
状況確認/中止	ジョブの確認や中止、本製品の状態を確認する（→P.36、P.44、P.64）
▲/▼	上下の設定項目を選択、または設定値を増減する
◀/▶	• 1階層前や次の画面に移動、またはカーソルを左右に移動する • ファクスの通信音が鳴っているとき、音量を調節する
OK	設定、登録した内容を確定する
戻る	1階層前の画面に戻る
用紙設定	給紙カセットにセットする用紙のサイズと種類を設定する（→P.26）

静音モード	ジョブ実行中の稼働音を抑える（→P.27）
クリア	入力した文字や数字を削除する

アドレス帳	アドレス帳に登録した宛先を名称で探す(→P.55)
短縮	短縮ダイヤルに登録した宛先を指定する(→P.54)
リダイヤル/ポーズ	直前にかけた3件の宛先を呼び出したり、ファクス番号入力時にポーズを挿入したりする(→P.55、P.57)
オンフック	外付け電話機またはオプションのハンドセットの受話器を置いたまま、ダイヤルする

ワンタッチ
ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定する(→P.54)

ファクス/コピー
コピー、ファクスにモードを切り替える(→P.16)

21から40までのワンタッチダイヤルを使うときにカバーを開ける

実行/メモリーランプ
通信中に点滅、待機中のジョブがあるときに点灯する

エラーランプ
エラーが発生したときに点滅する

メニューの使いかた

例：コピー濃度の補正

以前の画面に移動するには…
[ ](戻る)または[◀]を押す

[ ](メニュー)を押す

メニュー
環境設定
タイマー設定
コピー設定
ファクス送信設定

[▲]/[▼]を押してメニューを選択してから[OK]を押す

コピー設定
デフォルト設定の変更
濃度補正

[▲]/[▼]を押してメニューを選択してから[OK]を押す

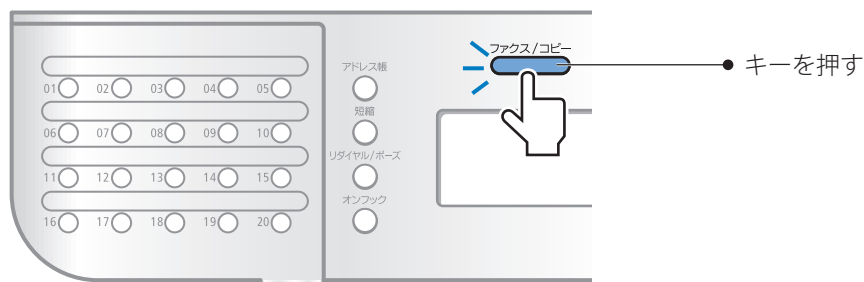
濃度補正
−□□□□■□□□□+

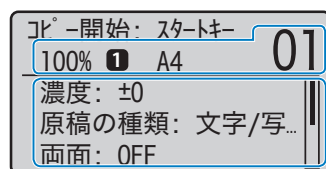
[◀]/[▶]で調節してから[OK]を押す
(機能によっては[▲]/[▼]でも調節)

[ ](メニュー)を押して設定を終了する

メモ
[OK]を押さずにメニューを終了すると、設定値が保存されないので注意してください。

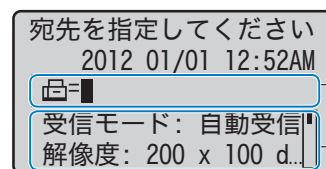
コピー／ファクスモードに切り替える

コピー、ファクスモードの画面に切り替えます。

モードを切り替えてからしばらく使わないと、基本画面であるファクスモードに切り替わる

コピーモード

設定した拡大/縮小倍率、用紙の給紙場所とサイズ、コピー部数を表示

設定を変更するには

1. [▲]/[▼]で項目を選択し、[**OK**]を押す
2. [▲]/[▼]または[◀]/[▶]で設定値を選択し、[**OK**]を押す

ファクスモード

宛先番号を表示

設定を変更するには

1. [▲]/[▼]で項目を選択し、[**OK**]を押す
2. [▲]/[▼]または[◀]/[▶]で設定値を選択し、[**OK**]を押す

基本画面に戻る時間を変更するには

[ ](メニュー) ➡ <**タイマー設定**> ➡ <**オートクリア移行時間**> ➡ 時間を設定 ➡ [**OK**]

文字を入力する

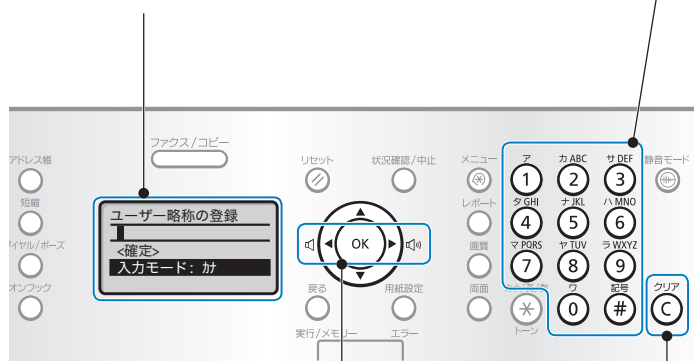
テンキーを使って文字や記号、数字を入力できます。

入力モードを切り替えるには

<ｶﾅ>	カタカナ
<aA>	アルファベットと記号
<12>	数字

[⊛]（トーン）を繰り返し押す

または

1. [▲]/[▼]で<**入力モード**>を選択し、[**OK**]を押す
2. [▲]/[▼]で必要に応じたモードを選択し、[**OK**]を押す

- カーソル前の1文字を削除
- 長押しすると、すべての文字を削除

- カーソル移動
- 文字の最後にカーソルを合わせて[▶]を押し、スペースを入力

文字や記号、数字を入力するには

入力したい文字に該当するキーを、その文字が表示されるまで繰り返し押す

使用するキー	入力モード：<ｶﾅ>	入力モード：<aA>	入力モード：<12>
①	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@.-_/	1
②	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
③	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
④	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
⑤	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
⑥	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
⑦	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
⑧	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
⑨	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
⓪	ﾜｦﾝ	（入力不可）	0
㊀#	ﾞ（濁音） ﾟ（半濁音） -（ハイフン）	@./-_!?&$ %#()[]{} <>*+=",; :'^`|¥	（入力不可）

入力例（例: キャノン1a）

1. [#]（トーン）を押して、入力モードを<**ｶﾅ**>に切り替える
2. [②]を繰り返し押して、<**キ**>を入力する

   キ

3. [⑧]を押して、<**ヤ**>を入力する

   キャ

4. [⑤]を繰り返し押して、<**ノ**>を入力する

   キャノ

5. [⓪]を繰り返し押して、<**ン**>を入力する

   キャノン

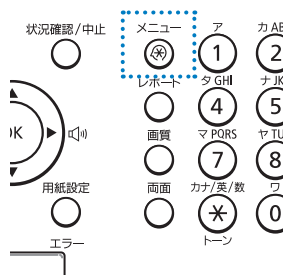
6. [⊛]（トーン）を繰り返し押して、入力モードを<**12**>に切り替える
7. [①]を押して、<**1**>を入力する

   キャノン1

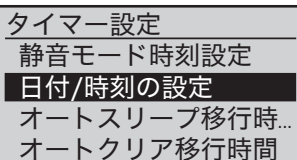
8. [⊛]（トーン）を繰り返し押して、入力モードを<**aA**>に切り替える
9. [②]を繰り返し押して、<**a**>を入力する

   キャノン1a

日付と時刻を設定する

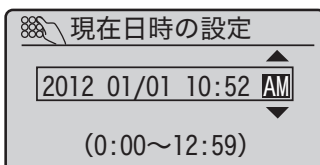
ファクス機能や各種レポートで表示される日付と時刻が合わないときに正しく設定します。

1 [ ](メニュー)を押す

2 [▲]/[▼]で＜**タイマー設定**＞を選択し、[OK]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**日付/時刻の設定**＞を選択し、[OK]を押す

4 [▲]/[▼]で＜**現在日時の設定**＞を選択し、[OK]を押す

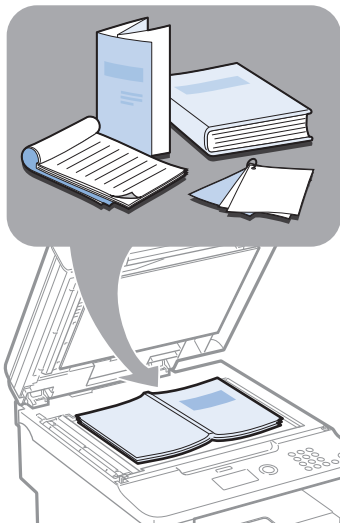
- 日付時刻の表示方法を変更するには、＜**日付表示タイプ切替**＞または＜**12/24時間表示切替**＞で設定します。

5 テンキーで日付と時刻を入力し、[OK]を押す

- [◀]/[▶]でカーソルを移動します。
- [▲]/[▼]で＜**AM**＞と＜**PM**＞を切り替えます。

6 [ ](メニュー)を押して設定を終了する

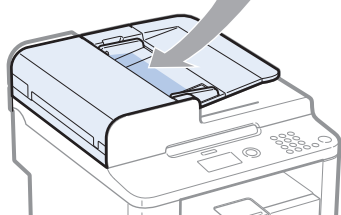
原稿をセットする

原稿の種類に応じて適切なセット場所を選びます。

厚い用紙、小さい用紙、薄い用紙、冊子
などの定形ではない原稿の場合

原稿台ガラスにセットする（→P.20）

セット可能な原稿

サイズ（幅×長さ）	297 mm × 215.9 mm 最大
質量	最大 2 kg
積載枚数	1枚

同じサイズ、紙厚、紙質の
複数枚の原稿をセットする場合

フィーダーにセットする（→P.20）

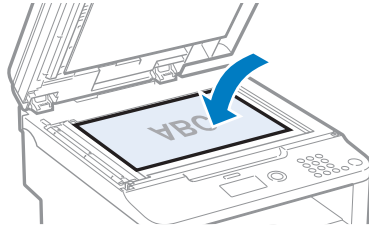
セット可能な原稿

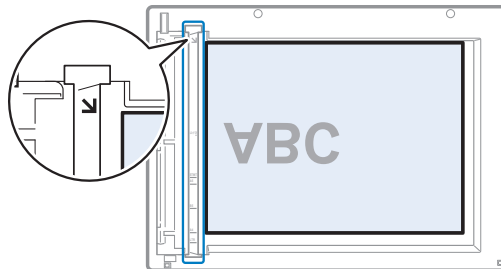
サイズ（幅×長さ）	最大 356 mm × 216 mm / 最小 127 mm × 140 mm
積載枚数（80 g/m²の用紙の場合）	50枚
坪量（g/m²）	両面原稿（60 ～105 g/m²）／片面原稿（50 ～105 g/m²）

- ノリやインク、修正液などは完全に乾かしてからお使いください。
- 以下のような原稿をお使いの場合は、フィーダーで紙づまりを起こさないように、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。
  - しわのある紙
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - 巻いた紙
  - 破れた紙
  - 薄い紙
  - ステイプルやペーパークリップで固定された紙
  - OHPフィルム

原稿台ガラスにセットする

1 フィーダーを開ける

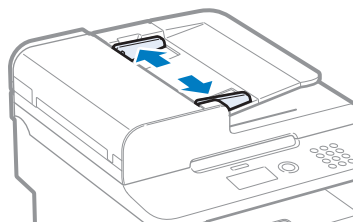
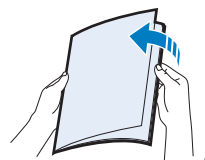
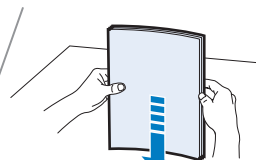
2 読み取る面を下にして原稿をセットする

3 原稿を用紙サイズマークに合わせる

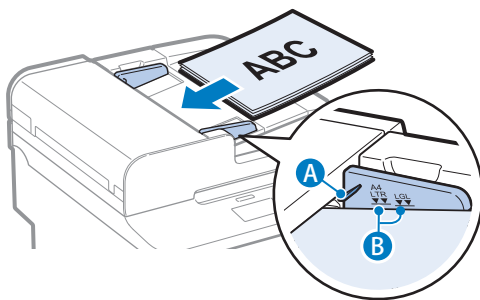
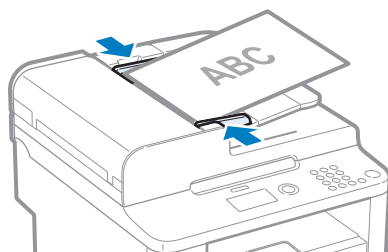
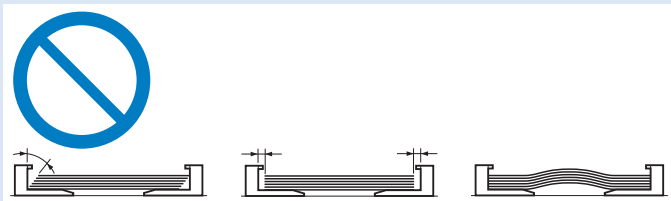
- 原稿が用紙サイズマークに合わないときは、原稿の左上端を矢印(➔)に合わせます。
- トレーシングペーパーやOHPフィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿の上に白紙を重ねます。

4 フィーダーを閉める

注意

- 指を挟まないように注意して閉めてください。
- 無理に閉めないでください。原稿台ガラスが破損したりけがをする恐れがあります。

フィーダーにセットする

1 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットする

2 原稿をさばいてから、原稿の端を揃える

3 読み取る面を上にして原稿をセットする

- 積載制限ガイド(A)の下を通します。
- 用紙束が積載制限マーク(B)を超えていないことを確認します。

4 原稿ガイドを原稿の幅に隙間なく合わせる

原稿ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりすると、原稿が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

重要

- 原稿を読み込んでいるときに原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
- 原稿の読み込みが終わったら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
- 同じ原稿を30回以上読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。

用紙をセットする

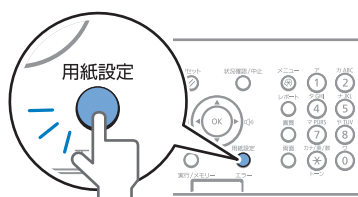
セットする前に用紙が適切かどうか確認してください。不適切な用紙をセットすると、紙づまりの原因になります。

Step 1 使用可能な用紙かどうか確認する

A4、B5、A5、はがき、封筒などの用紙を使用することができます。
使用可能な用紙の詳細は、e-マニュアルの「**おもな仕様**」➡「**用紙について**」を参照してください。

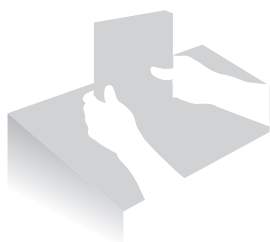
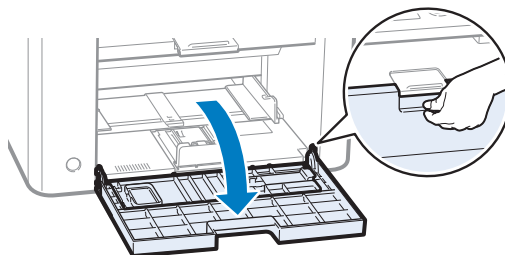
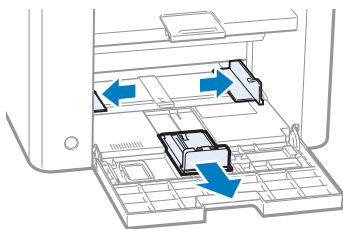
紙づまりを防ぐために以下の用紙は使用しないでください。

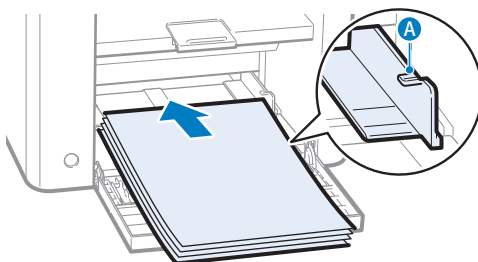
- しわや折り目のある紙
- カールした、または巻いた紙
- 破れた紙
- 湿った紙
- 非常に薄い紙
- 熱転写プリンターで印刷された紙（裏面にコピーしないでください）

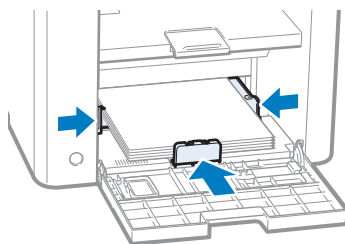
Step 2 セットした用紙のサイズと種類を設定する

セットした用紙と設定した用紙のサイズが違う場合は、エラーメッセージが表示されたり、正しく印刷できなかったりします。

給紙カセットに用紙をセットする

小サイズ用紙をセットする場合は「はがきや小サイズ用紙をセットする」（→P.24）を、用紙をセットする向きについては「用紙をセットする向き」（→P.25）を参照してください。

1 前カバーを開ける

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットする

3 印刷する面を上にして、用紙の端が奥に当たるまでゆっくりと差し込む

- 用紙は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

4 用紙ガイドを用紙の幅と長さに隙間なく合わせる

重要

用紙ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 前カバーを閉める

6 セットした用紙のサイズと種類を設定する（→P.26）

はがきや小サイズ用紙をセットする

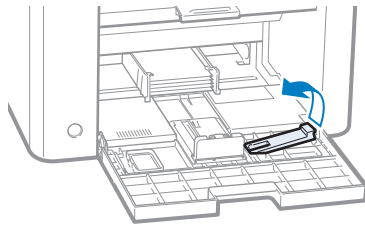
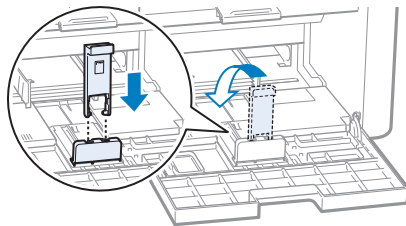
小サイズ用紙ガイドを使って、はがきや小サイズ用紙を給紙カセットにセットします。
用紙をセットする向きについては「用紙をセットする向き」(→P.25)を参照してください。

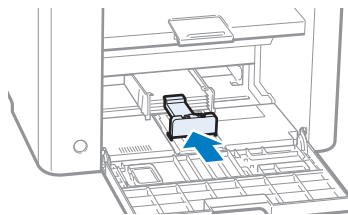
1 前カバーを開ける

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットする

3 印刷する面を上にして、用紙の端が奥に当たるまでゆっくりと差し込む

4 用紙ガイドを用紙の幅に隙間なく合わせる

5 小サイズ用紙ガイドを取り外す

6 小サイズ用紙ガイドを真上から差し込み、奥側へ倒す

7 後端の用紙ガイドをスライドさせて、小サイズ用紙ガイドを用紙の長さに隙間なく合わせる

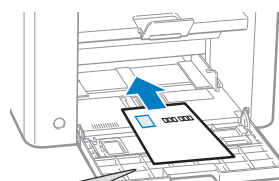
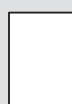
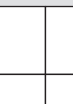
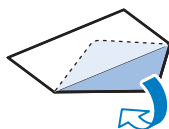
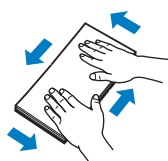
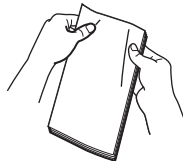
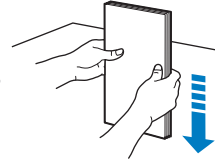
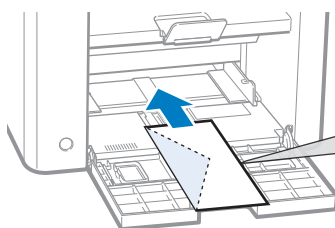
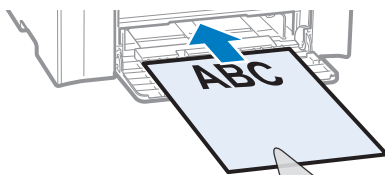
重要

用紙ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

8 前カバーを閉める

9 セットした用紙のサイズと種類を設定する(→P.26)

用紙をセットする向き

はがき、封筒、レターヘッドやロゴ付きの用紙は次のように正しい向きにセットしてください。

はがき

封筒

用紙のサイズと種類を設定する

セットした用紙のサイズと種類に合わせて設定を変更してください。

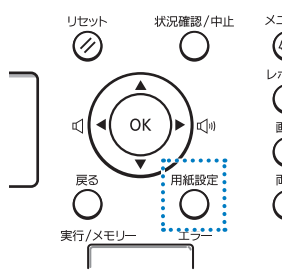
1 [◯]（用紙設定）を押す

2 <カセット1>を選択し、[OK]を押す

3 [▲]/[▼]で用紙サイズを選択し、[OK]を押す

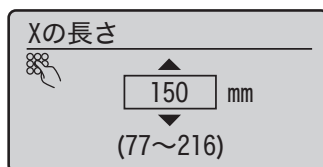
- 用紙サイズを直接入力するには<ﾕｰｻﾞ-設定（ｶｽﾀﾑ）>を選択し、次のページの「用紙サイズを手動で入力する方法」を参照して入力します。

4 [▲]/[▼]で用紙の種類を選択し、[OK]を押す

5 [◯]（用紙設定）を押して設定を終了する

用紙サイズを手動で入力する方法

用紙サイズは、縦長（<**Y**>≧<**X**>）かつ、設定可能な範囲内で指定してください。

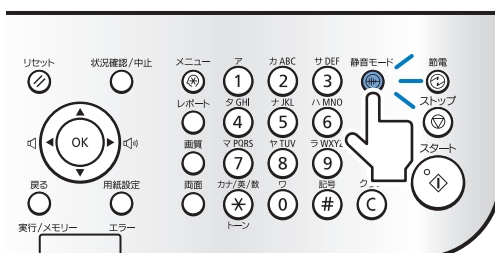
1 ［▲］/［▼］で<**X**>を選択し、［**OK**］を押す

2 テンキーで横サイズの数値を入力し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で<**Y**>を選択し、［**OK**］を押す

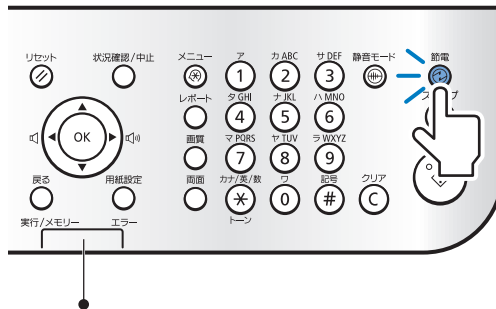
4 テンキーで縦サイズの数値を入力し、［**OK**］を押す

5 ［▲］/［▼］で<**確定**>を選択し、［**OK**］を押す

静音モードに切り替える

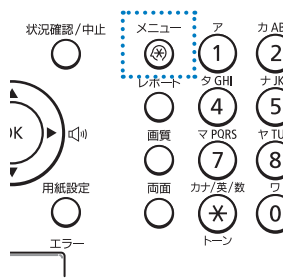
［ ］（静音モード）を押すことで、静音モードに切り替えたり解除したりできます。

- 工場出荷時、静音モードは<**OFF**>に設定されています。自動的に静音モードに切り替わる時間を指定するには、設定を<**ON**>に変更し、［ ］（メニュー）➡<**タイマー設定**>➡<**静音モード時刻設定**>を押して、時刻を指定します。
- 静音モードを有効にすると、各機能の動作が遅くなります。
- 用紙サイズや用紙種類の設定によっては静音モードが有効にならないことがあります。
- 特殊モードの設定は、静音モードより優先されます。
- 静音モードでは本製品の稼働音のみを抑えます。<**入力音**>や<**ジョブ終了音**>などの音量は小さくなりません。音量を下げたり、消したりしたい場合は、e-マニュアルの「**基本操作**」➡「**音量を調節する**」を参照してください。

節電(スリープ)モードに切り替える

[ ](節電)を押すことで、スリープモードに切り替えたり解除したりできます。

実行/メモリーランプが点灯または点滅しているときは、動作中またはエラーが発生した状態なので、スリープモードに切り替えられません。

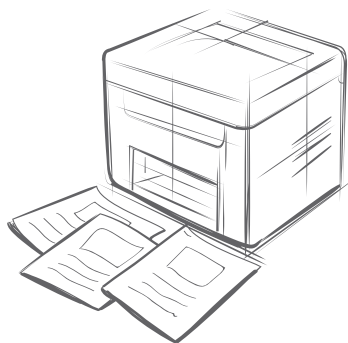
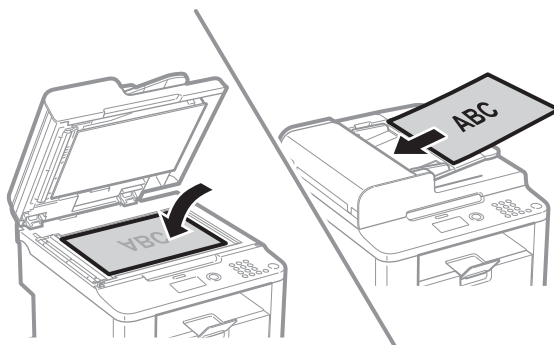
工場出荷時、3分間使用しないと自動的にスリープモードに切り替わる設定になっています。自動的にスリープモードに移行するまでの時間を変更するには、[ ](メニュー)➡ <**タイマー設定**> ➡ <**オートスリープ移行時間**>を選択して時間を設定します。

トナー節約モードを設定する

コピー時やファクス時にトナーの消費量を節約できます。
トナーセーブモードを設定すると、印刷結果が薄くなり、細い線や濃度の薄い印刷が不鮮明になることがあります。

1. [ ](メニュー)を押す
2. [▲]/[▼]で<**環境設定**>を選択し、[OK]を押す
3. [▲]/[▼]で<**トナーセーブモード**>を選択し、[OK]を押す

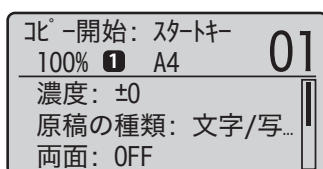
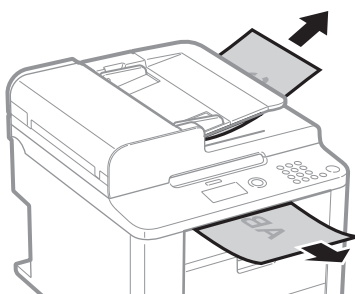
4. [▲]/[▼]で<**コピー**>または<**ファクス**>を選択し、[OK]を押す
5. [▲]/[▼]で<**ON**>または<**OFF**>を選択し、[OK]を押す
6. [ ](メニュー)を押して設定を終了する

コピー

よく使うコピー機能を説明します。

基本的なコピー

1 原稿をセットする（→P.19）

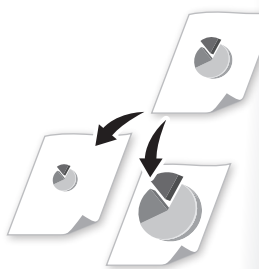
2 コピーモードに切り替える（→P.16）

3 テンキーでコピー部数（1 ～ 99）を入力する

- コピー部数を修正するときは、［ C ］（クリア）を押します。

4 ［ ］（スタート）を押す

コピーを中止するには

［ ］（ストップ）を押します。

- ジョブが1つだけの場合は、［ ］（ストップ）を2回連続して押すと中止できます。

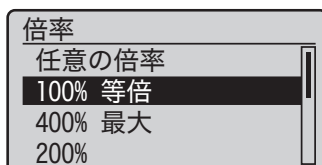
拡大／縮小してコピーする

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に拡大／縮小コピーしたり（定形変倍）、1%刻みに倍率を設定したりできます。

1 **原稿をセットする（→P.19）**

2 **コピーモードに切り替える（→P.16）**

3 **[▲]/[▼]で<倍率>を選択し、[OK]を押す**

4 **[▲]/[▼]でコピー倍率を選択して、[OK]を押す**

- 倍率を1%刻みで設定したい場合は、<**任意の倍率**>を選択し、テンキーを使って倍率を入力するか[▲]/[▼]で倍率を設定します。

5 **[ ]（スタート）を押す**

画質を調整してコピーする

濃度と原稿の種類の関連について

<**濃度**>を<**自動濃度**>に設定すると、<**原稿の種類**>は自動的に<**文字**>が適用されます。

濃度を調整する

原稿より薄くまたは濃く調整できます。

1 **原稿をセットする（→P.19）**

2 **コピーモードに切り替える（→P.16）**

3 **[▲]/[▼]で<濃度>を選択し、[OK]を押す**

4 **[◀]/[▶]で濃度を調節し、[OK]を押す**

- <**自動濃度**>を選択すると、原稿に最適な濃度でコピーされます。

5 **[ ]（スタート）を押す**

原稿の種類を選ぶ

原稿に合わせて選択してください。

1 **原稿をセットする（→P.19）**

2 **コピーモードに切り替える（→P.16）**

3 **［▲］/［▼］で＜原稿の種類＞を選択し、［OK］を押す**

4 **［▲］/［▼］で原稿の種類に適する設定を選択し、［OK］を押す**

＜文字＞	文字のみの原稿に適する
＜文字/写真（高速コピー）＞	文字と写真が混在している原稿に適する（原稿を低解像度で高速に読み込む）
＜文字/写真＞	文字と写真が混在している原稿に適する
＜写真＞	写真が大きく配置されている原稿に適する

5 **［ ］（スタート）を押す**

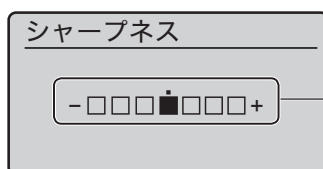
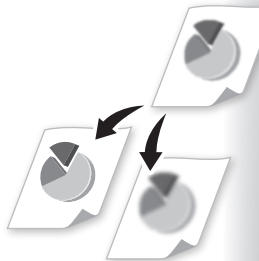
シャープネスを調節する

原稿の画像のエッジをくっきりとまたはソフトに調整できます。

1 **原稿をセットする（→P.19）**

2 **コピーモードに切り替える（→P.16）**

3 **［▲］/［▼］で＜シャープネス＞を選択し、［OK］を押す**

4 **［◀］/［▶］でシャープネスを調節し、［OK］を押す**

5 **［ ］（スタート）を押す**

両面にコピーする

原稿を両面にコピーできます。両面の原稿を両面または片面にコピーすることもできます。

1 **原稿をセットする(→P.19)**

- 片面の原稿を両面コピーしたい場合は、原稿をフィーダーまたは原稿台ガラスにセットしてください。
- 両面原稿を両面コピーまたは片面コピーしたい場合は、原稿をフィーダーにセットしてください。

2 **コピーモードに切り替える(→P.16)**

3 **[▲]/[▼]で<両面>を選択し、[OK]を押す**

4 **[▲]/[▼]で両面コピーの形式を選択し、[OK]を押す**

5 **[ ](スタート)を押す**

フィーダーに原稿をセットした場合	自動的にコピーが始まります。
原稿台ガラスに原稿をセットした場合	1. [▲]/[▼]で原稿のサイズを選択して、[**OK**]を押します。 • <**LGL**>を選択することができますが、実際の読み取りサイズはA4になります。 2. 次の原稿をセットして[ ](スタート)を押します。 • 原稿を1枚読み込むごとに[ ](スタート)を押します。 3. すべての原稿の読み込みが完了したら、[▲]/[▼]で<**コピー開始**>を選択して、[**OK**]を押します。

開き方を設定したい場合

手順4で<**開き方設定**>を選択すると、原稿の開き方や仕上がりの開き方を設定できます。

<上下開き>

<左右開き>

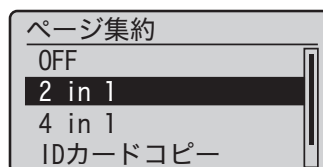
複数枚の原稿を1 枚の用紙にコピーする

複数枚の原稿（2または4ページ）を、1枚の用紙におさめてコピーできます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 コピーモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜**ページ集約**＞を選択し、［**OK**］を押す

4 ［▲］/［▼］で＜**2 in 1**＞または＜**4 in 1**＞を選択し、［**OK**］を押す

5 ［▲］/［▼］で原稿のサイズを選択し、［**OK**］を押す
- ＜**LGL**＞を選択することができますが、実際の読み取りサイズはA4になります。

6 ［ ◇ ］スタート）を押す

ページレイアウトを設定したい場合

手順4で＜**レイアウト設定**＞を選択すると、お好みのページレイアウトに設定できます。

＜2 in 1（1）＞

＜2 in 1（2）＞

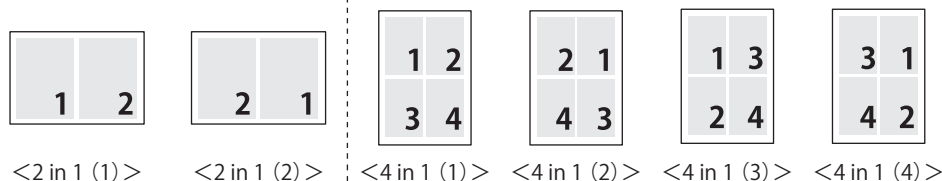
＜4 in 1（1）＞

＜4 in 1（2）＞

1 3
2 4

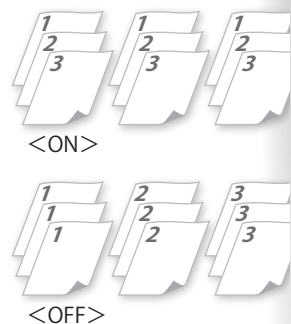
＜4 in 1（3）＞

3 1
4 2

＜4 in 1（4）＞

ページ順に並べてコピーする

複数枚の原稿を複数部コピーするとき、ページ順に並べて1 部ずつコピーできます。

＜ON＞

＜OFF＞

1 原稿をセットする（→P.19）

2 コピーモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜**ソート**＞を選択し、［**OK**］を押す

4 ［▲］/［▼］で＜**ON**＞を選択し、［**OK**］を押す

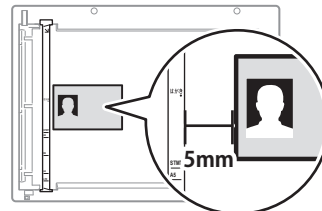
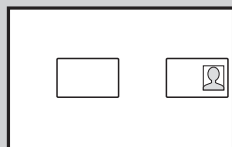
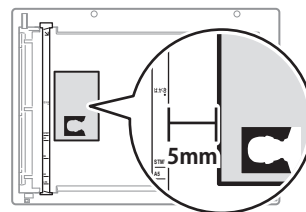
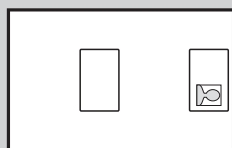
5 テンキーを使って必要な部数を入力する

6 ［ ◇ ］（スタート）を押す

IDカードの両面をコピーする

IDカードの両面を用紙の片面にコピーできます。

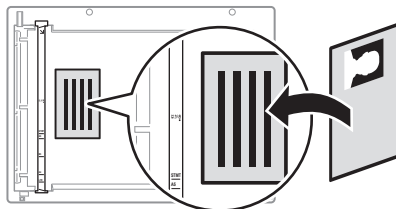
1 **IDカードを原稿台ガラスにセットする**

- カードは5 mm程度の隙間を空けて、原稿台ガラスの左端に置いてください。

2 **コピーモードに切り替える（→P.16）**

3 **[▲]/[▼]で<ページ集約>を選択し、[OK]を押す**

4 **[▲]/[▼]で<IDカードコピー>を選択し、[OK]を押す**

5 **[]（スタート）を押す**

6 **カードを裏返して置く**

7 **[ ]（スタート）を押す**

メモ

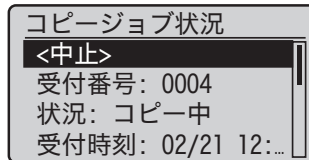
- 倍率は自動的に<**100%**>に設定されます。
- 使用できる用紙サイズはA4またはレター以上の定型サイズです。

コピージョブを確認／中止する

進行中のコピージョブを確認／中止できます。

1 [◯]（**状況確認/中止**）**を押す**

2 **[▲]/[▼]で<コピージョブ状況>を選択し、[OK]を押す**

- ジョブを中止するには、[▲]/[▼]で<**中止**>を選択して、[**OK**]を押します。確認画面で、[◀]で<**はい**>を選択して、[**OK**]を押します。

3 [◯]（**状況確認/中止**）**を押して確認を終了する**

コピーのデフォルト値を変更する

電源を入れなおしたときや、[⊘]（リセット）を押したとき、オートクリア移行時間経過後に適用されるデフォルト値を設定できます。

1 [㊊]（**メニュー**）**を押す**

2 **[▲]/[▼]で<コピー設定>を選択し、[OK]を押す**

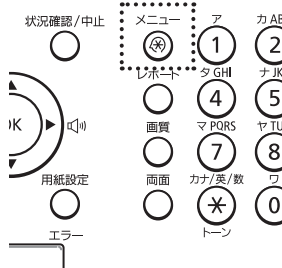
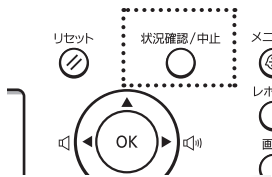
3 **[▲]/[▼]で<デフォルト設定の変更>を選択し、[OK]を押す**

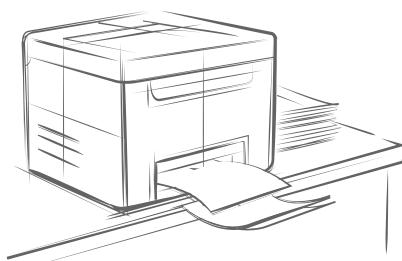
4 **[▲]/[▼]で設定する項目を選択し、[OK]を押す**

<部数>	コピー部数を選択する
<濃度>	原稿より薄くまたは濃く調節する
<原稿の種類>	原稿の種類を選択する
<両面>	読み込んだ原稿を両面にコピーする
<倍率>	コピーの倍率を選択する
<ページ集約>	複数枚の原稿を、1 枚の用紙におさめてコピーする
<ソート>	ページごとに指定された部数をコピーするか、ページ順に並べて1 部ずつコピーする
<シャープネス>	画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱める

5 **デフォルト値を設定する**

6 **設定が終わったら[▲]/[▼]で<確定>を選択し、[OK]を押す**

7 [㊊]（**メニュー**）**を押して設定を終了する**

プリント

よく使う印刷機能を説明します。

印刷機能をお使いになる前に、プリンタードライバーをインストールして、本製品をコンピューターと接続しておいてください。プリンタードライバーのインストール方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

- お使いのアプリケーションソフトウェアに同じ機能があると、機能を同時に使用できません。
- お使いのOS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

プリントする

1 本製品がコンピューターに接続されており、プリンタードライバーがコンピューターにインストールされていることを確認する（かんたん設置ガイドを参照）

2 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

3 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックする

4 印刷部数や印刷の向きなどの設定をして、［**OK**］をクリックする

5 ［**印刷**］をクリックする

プリントを中止するには

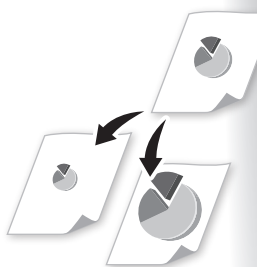
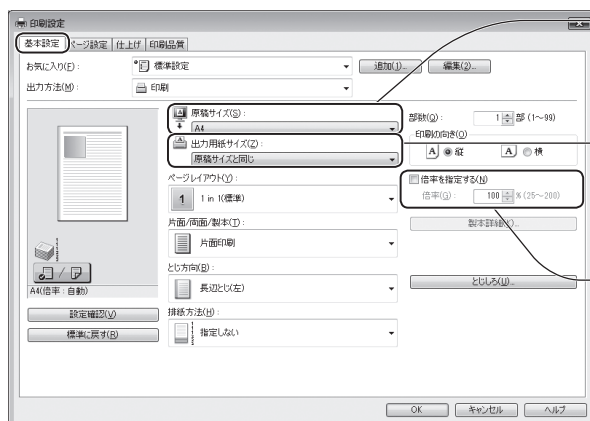
［ ⊚ ］（ストップ）を押します。

- ジョブが1つだけの場合は、［ ⊚ ］（ストップ）を2回連続して押すと中止できます。

拡大／縮小してプリントする

印刷する用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小したり、パーセントで倍率を指定することができます。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックして、印刷設定画面を表示する

3 ［**基本設定**］タブを選択し、倍率について設定する

- 作成した原稿のサイズを選択する
- 自動的に用紙に合わせて印刷するには、使用する用紙のサイズを選択する
- 倍率を直接指定するには［**倍率を指定する**］をチェックし、倍率を選択する

4 ［**OK**］をクリックして印刷画面に戻る

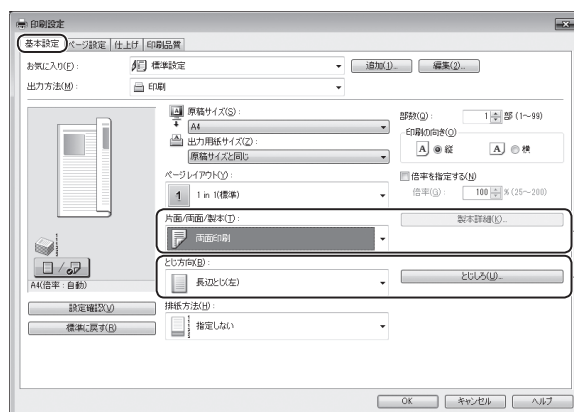
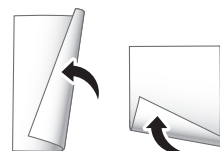
5 ［**印刷**］をクリックする

両面にプリントする

用紙の両面に印刷できます。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックして、印刷設定画面を表示する

3 ［**基本設定**］タブを選択し、両面印刷について設定する

- ［**両面印刷**］を選択する
- 用紙のとじ方向を選択する

4 ［**OK**］をクリックして印刷画面に戻る

5 ［**印刷**］をクリックする

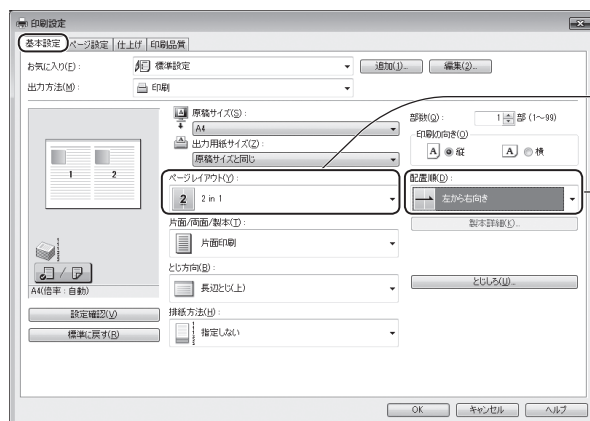
両面印刷に使用できる用紙サイズはお使いの機種によって異なります。詳しくはe-マニュアルの「**おもな仕様**」➡「**使用できる用紙について**」を参照してください。

複数ページを1枚の用紙にプリントする

複数（2/4/6/8/9/16）のページを1枚の用紙に配置して印刷できます。内容を見やすくしたり、用紙を節約して保管したいときに便利です。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックして、印刷設定画面を表示する

3 ［**基本設定**］タブを選択し、ページ数とレイアウトを設定する

4 ［**OK**］をクリックして印刷画面に戻る

5 ［**印刷**］をクリックする

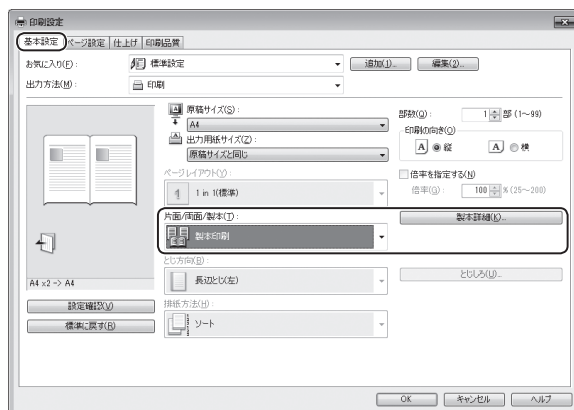
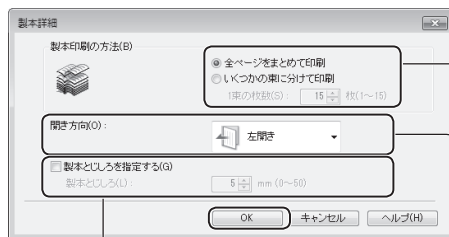
本機能をお使いの場合は、拡大／縮小機能は使用できません。

製本印刷をする

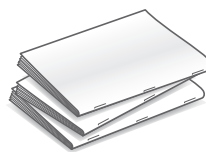
片面に2ページずつ両面印刷し、まとめて2つ折りにすると小冊子が作れます。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックして、印刷設定画面を表示する

3 ［**基本設定**］タブを選択し、［**製本印刷**］を選択してから、［**製本詳細**］をクリックする

4 製本についての詳細を設定し、［**OK**］をクリックする

5 ［**OK**］をクリックして印刷画面に戻る

6 ［**印刷**］をクリックする

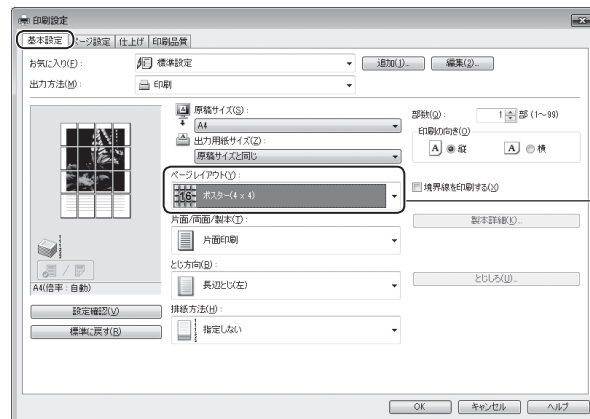
7 印刷物を2つ折りして製本する

ポスターを作れるようにプリントする

1ページの原稿を拡大して複数枚の用紙に分割印刷し、印刷された印刷物を貼り合わせてポスターを作れます。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[**詳細設定**]（または[**プロパティ**]）をクリックして、印刷設定画面を表示する

3 [**基本設定**]タブを選択し、[**ページレイアウト**]で[**ポスター（N×N）**]を選択する

● [**ポスター（N×N）**]を選択する（N×Nは縦×横の分割枚数）

4 [**OK**]をクリックして印刷画面に戻る

5 [**印刷**]をクリックする

6 印刷物を貼り合わせてポスターを作る

本機能をお使いの場合は、スタンプ印刷、拡大／縮小、複数ページを1枚の用紙に印刷する機能は使用できません。

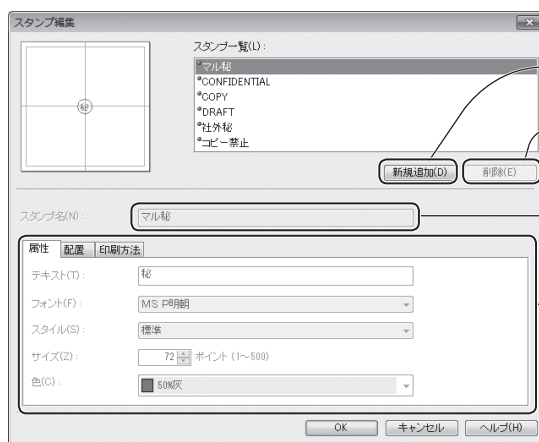
スタンプを入れてプリントする

COPYやDRAFTなどのスタンプ用テキストを重ね合わせて印刷できます。

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、［**詳細設定**］（または［**プロパティ**］）をクリックして、印刷設定画面を表示する

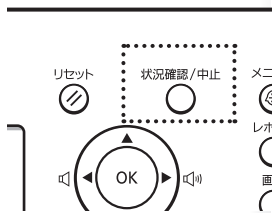
3 ［**ページ設定**］タブを選択し、スタンプについて設定する

4 新規でオリジナルスタンプを作成するには、［**スタンプ編集**］をクリックし、文字を入力する

5 ［**OK**］をクリックして印刷画面に戻る

6 ［**印刷**］をクリックする

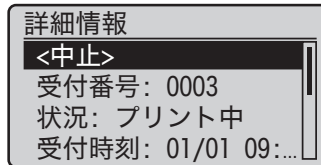
スタンプは、あらかじめ登録されているスタンプを除き最大50個まで追加登録できます。

プリントジョブを確認／中止する

進行中または待機中のプリントジョブを確認／中止できます。

1 [ ]（**状況確認/中止**）を押す

2 **[▲]/[▼]で＜プリントジョブ状況＞を選択し、[OK]を押す**

3 **[▲]/[▼]で確認または中止するジョブを選択して、[OK]を押す**

- ジョブを中止するには、詳細情報の画面から[▲]/[▼]で＜**中止**＞を選択して、[**OK**]を押します。
  確認画面で、[◀]で＜**はい**＞を選択し、[**OK**]を押します。

4 [ ]（**状況確認/中止**）を押して終了する

ファクス

よく使うファクス機能を説明します。

（→ **P.92**）

受信モードについて、よくある質問を参照できます。

PCファクスについて

PCファクス（ファクスドライバー）を利用すると、コンピューターから直接ファクスを送ることができます。

直接ファクスを送ることで、用紙とトナーを節約でき、ファクスの画質もよくなります。

詳しい内容はe-マニュアルの「**ファクスを使う**」➡「**PCファクスを使う**」を参照してください。

アドレス帳に宛先を登録する

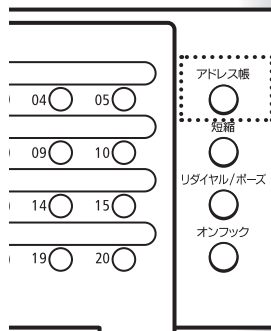
よく使う番号を登録することができます。アドレス帳のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに番号を登録すると簡単にダイヤルできます。

- アドレス帳に暗証番号を設定できます。
  [ ](メニュー)➡<**システム管理設定**>➡<**送信機能の制限**>➡<**アドレス帳の暗証番号**>の手順で選択し、暗証番号を設定します。
- 暗証番号が設定されている場合は、アドレス帳の宛先を登録／編集／削除する際に、暗証番号の入力画面が表示されます。設定した暗証番号を入力し、[**OK**]を押すとアドレス帳の機能が使えます。
- 付属のUser Software CD-ROMに収録されている「Address Book Import/Export Tool」を使って、本製品に登録されているアドレス帳をエクスポートしたり、ファクスドライバーで編集や作成したアドレス帳をインポートすることができます。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルに登録した番号にファクスを送信する方法は「ワンタッチダイヤルを使う」(→P.54)を参照してください。

1 **ファクスモードに切り替え、[ ](アドレス帳)を押す**

キヤノン01 0123456789
キヤノン02 9876543210
キヤノン03 0011223344
全て あ

- [◀]/[▶]でメニュー画面または登録した番号の検索画面に切り替える
  - :アドレス帳のメニューを表示
  - 全て:登録したすべての番号を表示
  - あ～YZ:登録した番号を名前順に表示
  - :登録した短縮ダイヤル番号を表示
  - :グループダイヤルに登録した宛先の件数を表示
  - :登録したワンタッチダイヤル番号を表示

2 **[◀]で< >(アドレス帳のメニュー)を選択する**

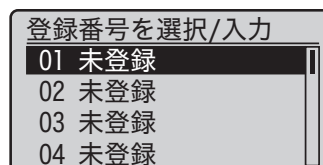
3 **[▲]/[▼]で<アドレス帳に新規登録>を選択し、[OK]を押す**

4 **[▲]/[▼]で<ワンタッチ>を選択し、[OK]を押す**

5 **[▲]/[▼]で<ファクス>を選択し、[OK]を押す**

6 **[▲]/[▼]で登録するワンタッチダイヤルキー(01 ～40)を選択し、[OK]を押す**

- 40件のワンタッチダイヤルキーにそれぞれファクス番号を登録できます。

登録番号を選択/入力
01 未登録
02 未登録
03 未登録
04 未登録

7 **[▲]/[▼]で<名称>を選択し、[OK]を押す**

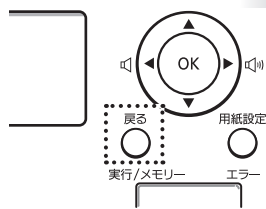
8 名称を入力したあと、［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択して、［**OK**］を押す

9 ［▲］/［▼］で＜**宛先**＞を選択し、［**OK**］を押す

10 宛先のファクス番号を入力したあと、［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

- 必要に応じて、＜**詳細設定**＞を選択して詳細オプションを選択します。

11 ［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

12 ［ ］（戻る）を押して登録を終了する

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した番号にファクスを送信する方法は「短縮ダイヤルを使う」（→P.54）を参照してください。

1 ファクスモードに切り替え、［ ］（アドレス帳）を押す

2 ［◀］で＜ ＞（アドレス帳のメニュー）を選択する

3 ［▲］/［▼］で＜**アドレス帳に新規登録**＞を選択し、［**OK**］を押す

4 ［▲］/［▼］で＜**短縮ダイヤル**＞を選択し、［**OK**］を押す

5 ［▲］/［▼］で＜**ファクス**＞を選択し、［**OK**］を押す

6 ［▲］/［▼］で＜**名称**＞を選択し、［**OK**］を押す

7 名称を入力したあと、［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択して、［**OK**］を押す

8 [▲]/[▼]で＜**宛先**＞を選択し、[**OK**]を押す

9 宛先のファクス番号を入力したあと、[▲]/[▼]で＜**確定**＞を選択し、[**OK**]を押す

- 必要に応じて、＜**詳細設定**＞を選択して詳細オプションを選択します。

10 [▲]/[▼]で＜**短縮ダイヤル**＞を選択し、[**OK**]を押す

11 [▲]/[▼]で登録する短縮番号（001 ～200）を選択し、[**OK**]を押す

- 200件の短縮番号を登録できます。

12 [▲]/[▼]で＜**確定**＞を選択し、[**OK**]を押す

13 [ ]（戻る）を押して登録を終了する

グループダイヤルを登録する

1つのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに複数の番号をグループとして登録できます。複数の相手先に一斉にファクスを送信するときに便利です。

重要

- グループダイヤルは未登録のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。グループダイヤル用としてワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを空けておいてください。
- グループに登録する番号をあらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておいてください。

1 ファクスモードに切り替え、[ ]（アドレス帳）を押す

2 [◀]で＜＞（アドレス帳のメニュー）を選択する

3 [▲]/[▼]で＜**アドレス帳に新規登録**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]でグループダイヤルの登録先を選択し、[**OK**]を押す

- 登録先には、短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルがあります。

5 ［▲］/［▼］で＜**グループ**＞を選択し、［**OK**］を押す

6 手順4で＜**ワンタッチ**＞を選んだ場合には、［▲］/［▼］でグループを登録するワンタッチダイヤルキーの番号（01 〜40）を選択し、［**OK**］を押す

- ＜**短縮ダイヤル**＞を選んだ場合には、手順7へ進んでください。

7 ［▲］/［▼］で＜**名称**＞を選択し、［**OK**］を押す

8 名称を入力し、［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

9 ［▲］/［▼］で＜**宛先**＞を選択し、［**OK**］を押す

10 ［▲］/［▼］で＜**追加**＞を選択し、［**OK**］を押す

11 ［▲］/［▼］でグループに入れる番号を選択し、［**OK**］を押す

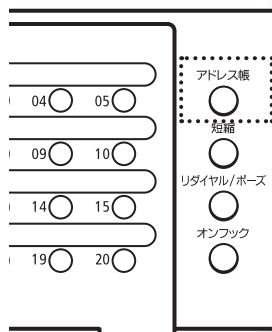
12 続けて追加するには、手順10 〜11を繰り返す

13 追加が終わったら、［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

14 ［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

15 ［◯］（戻る）を押して登録を終了する

登録した宛先を編集／削除する

アドレス帳の編集メニューで登録した宛先を編集または削除できます。

1 ファクスモードに切り替え、[ ]（アドレス帳）を押す

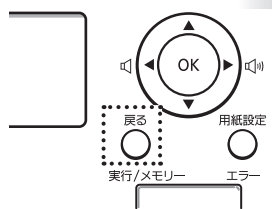
2 [◀]で<>（アドレス帳のメニュー）を選択する

3 [▲]/[▼]で設定項目を選択して、[**OK**]を押す

<アドレス帳の編集>	• ワンタッチまたは短縮ダイヤルの場合は、登録した名称やファクス番号などを修正できる • グループダイヤルの場合は、登録した名称の修正やグループに登録した番号の削除、新しい番号の追加などができる
<アドレス帳の詳細>	詳細情報を確認できる
<アドレス帳から削除>	アドレス帳から宛先を削除できる

4 宛先を選択し、[**OK**]を押す

5 修正する項目を選択して修正または削除する

6 [ ]（戻る）を押して終了する

ファクスの画質を調整する

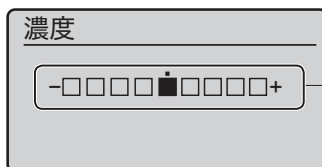
濃度を調整する

原稿より薄くまたは濃く調整できます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 [▲]/[▼]で<**濃度**>を選択し、[**OK**]を押す

4 [◀]/[▶]で濃度を調整し、[**OK**]を押す

5 宛先を指定してファクスを送信する（→P.53）

原稿に合う解像度を選ぶ

原稿に適切な解像度を選んで送信します。文字が小さくて見にくい原稿は高解像度に設定してください。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜解像度＞を選択し、［**OK**］を押す

4 解像度を選択し、［**OK**］を押す

＜200 x 100 dpi（ノーマル）＞	文字のみの原稿の場合
＜200 x 200 dpi（ファイン）＞	文字が細かい原稿の場合
＜200 x 200 dpi（フォト）＞	写真を含む原稿の場合
＜200 x 400 dpi（スーパーファイン）＞	文字がさらに細かい原稿の場合

5 宛先を指定してファクスを送信する（→P.53）

ファクス

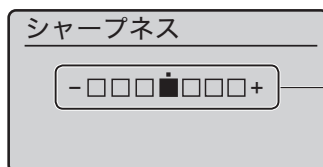
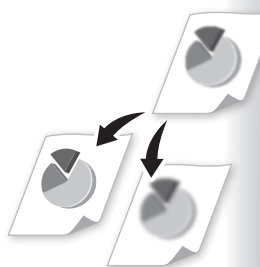
シャープネスを調節する

原稿の画像のエッジをくっきりとまたはソフトに調整できます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜シャープネス＞を選択し、［**OK**］を押す

4 ［◀］/［▶］でシャープネスを調節し、［**OK**］を押す

5 宛先を指定してファクスを送信する（→P.53）

両面原稿の開き方を設定する

両面原稿を読み込むときに、原稿の開き方を設定できます。

1 原稿をフィーダーにセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜**両面原稿**＞を選択し、［OK］を押す

4 ［▲］/［▼］で設定項目を選択し、［OK］を押す

＜OFF＞	片面（表面）だけを読み込む
＜左右開き＞	• 両面読み込みをする • 原稿が横開きの場合に選択する
＜上下開き＞	• 両面読み込みをする • 原稿が縦開きの場合に選択する

5 宛先を指定してファクスを送信する（→P.53）

デフォルト値を変更する

電源を入れなおしたときや、［ ］（リセット）を押したとき、オートクリア移行時間経過後に適用されるデフォルト値を設定できます。

1 ［ ］（メニュー）を押す

2 ［▲］/［▼］で＜**ファクス送信設定**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**送信機能設定**＞を選択し、［**OK**］を押す

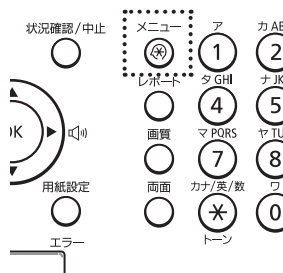
4 ［▲］/［▼］で＜**デフォルト設定の変更**＞を選択し、［**OK**］を押す

5 ［▲］/［▼］で設定する項目を選択し、［**OK**］を押す

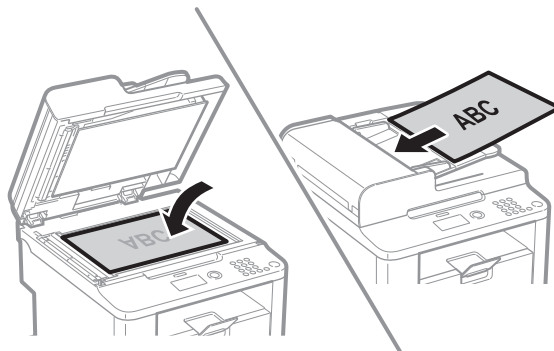
＜解像度＞	読み取り解像度を設定する
＜濃度＞	読み取り濃度を薄く、または濃く設定する
＜両面原稿＞	両面原稿の開き方を設定する
＜シャープネス＞	原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱める

6 デフォルト値を設定する

7 設定が終わったら［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

8 ［ ］（メニュー）を押して設定を終了する

ファクスを送信する

宛先を入力してファクスを送る

1 原稿をセットする(→P.19)

2 ファクスモードに切り替える(→P.16)

3 テンキーで宛先のファクス番号を入力する

```
送信開始: スタートキー
      宛先数: 001
=012345678
受信モード: 自動受信
解像度: 200 x 100 d...
```

4 [ ](スタート)を押す

フィーダーに原稿をセットした場合	原稿の読み込みを開始します。読み込みが終了したら、ファクスが送信されます。
原稿台ガラスに原稿をセットした場合	1. [▲]/[▼]で原稿のサイズを選択して、[**OK**]を押します。 2. 次の原稿をセットして[ ](スタート)を押します。 • 原稿を1枚読み込むごとに[ ](スタート)を押します。 3. すべての原稿の読み込みが完了したら、[▲]/[▼]で<**送信開始**>を選択して、[**OK**]を押します。

相手先が話し中などでファクス送信ができない場合や送信エラーが発生した場合に2分間隔で2回の自動リダイヤルを実行します。
自動リダイヤルの回数や間隔を変更したり、自動リダイヤルしないように設定するには[ ](メニュー) ➡ <**ファクス送信設定**> ➡ <**送信機能設定**> ➡ <**自動リダイヤル**>で<**ON**>を選択し、必要に応じて設定します。

送信中のファクスを中止するには

[ ](ストップ)を押します。

- ジョブが1つだけの場合は、[ ](ストップ)を2回連続して押すと中止できます。

ワンタッチダイヤルを使う

ワンタッチダイヤルに登録された宛先に簡単に送信できます。ワンタッチダイヤルにグループが登録されていたら、複数の宛先に同時に送信されます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 必要に応じて原稿の画質を調整する（→P.50）

4 ワンタッチダイヤルキーを押す

- ワンタッチダイヤルに登録された番号が表示されます。間違ったキーを押した場合は、［ C ］（クリア）を押してください。
- 宛先の確認画面が表示された場合は、宛先を確認して［**OK**］を押します。

5 ［ ◇ ］（スタート）を押してファクスを送信する

短縮ダイヤルを使う

短縮ダイヤルに登録された宛先に簡単に送信できます。短縮ダイヤルにグループが登録されていたら、複数の宛先に同時に送信されます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 必要に応じて原稿の画質を調整する（→P.50）

4 ［ ◯ ］（短縮）を押す

5 テンキーを使って、3桁の短縮番号（001 ～200）を入力する

- 短縮ダイヤルに登録された番号が表示されます。間違った場合は、［ C ］（クリア）を押してください。
- 宛先の確認画面が表示された場合は、宛先を確認して［**OK**］を押します。

6 ［ ◇ ］（スタート）を押してファクスを送信する

アドレス帳を使う

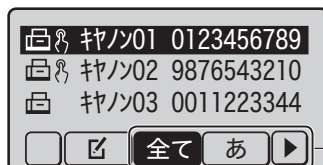
アドレス帳に登録した名称で宛先を探すことができます。

1 原稿をセットする(→P.19)

2 ファクスモードに切り替える(→P.16)

3 必要に応じて原稿の画質を調整する(→P.50)

4 [ ](アドレス帳)を押す

5 [◀]/[▶]で検索範囲を選択する

<**全て**>または名称の並び順を選択する

6 [▲]/[▼]で番号を選択し、[**OK**]を押す

7 [ ](スタート)を押してファクスを送信する

リダイヤルを使う

宛先をテンキーで手動入力してファクスを送信した場合は、直前の番号3件までメモリーに保存されます。この保存された番号を使って送信できます。

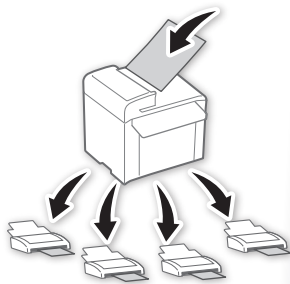
1 原稿をセットする(→P.19)

2 ファクスモードに切り替える(→P.16)

3 [ ](リダイヤル/ポーズ)を押す

4 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[**OK**]を押す

5 [ ](スタート)を押してファクスを送信する

- [ ](オンフック)を押して「プー」という音が聞こえるときに[ ](リダイヤル/ポーズ)を押すと、テンキーで手動入力した直前の宛先が自動的に入力されます。
- 本製品の電源を入れなおした場合は、メモリーに保存された番号が削除されます。

ファクス

複数の相手先にファクスを送信する（同報送信）

複数の宛先に同じ原稿を一度に送信できます。

1 **原稿をセットする（→P.19）**

2 **ファクスモードに切り替える（→P.16）**

3 **宛先を指定する**

4 **［▲］/［▼］で追加する宛先の指定方法を選択し、［OK］を押す**

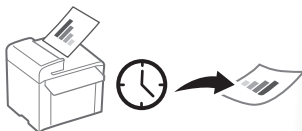
＜アドレス帳から指定＞	アドレス帳に登録されている宛先の名称を探して指定する
＜短縮ダイヤルから指定＞	3桁の登録先番号を入力して宛先を指定する
＜次の宛先指定（新規）＞	テンキーで番号を直接入力する

5 **手順4を繰り返し、すべての宛先を入力する**

- ＜**次の宛先指定（新規）**＞は10件まで入力できます。
- 登録した番号のリストを確認したり、リストから削除するには、［▲］/［▼］で＜**宛先確認/編集**＞を選択します。

6 **［ ］（スタート）を押してファクスを送信する**

指定した時刻にファクスを送信する（タイマー送信）

事前に読み込んだ原稿を、指定した時刻に自動的に送ることができます。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 ［▲］/［▼］で＜タイマー送信＞を選択し、［OK］を押す

4 ［▲］/［▼］で＜ON＞ を選択し、［OK］を押す

5 送信する時刻を入力し、［OK］を押す

6 宛先を選択する（→P.53）

7 ［ ］（スタート）を押してファクスを送信する

- ファクスは指定した時刻に送信されます。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へファクスを送信する場合は、通信距離が長くて相手にうまくつながらないことがあります。このようなときは、通信中に待ち時間を入れるポーズを番号の間に挿入します。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 テンキーで国際アクセス番号を入力する

- 国際アクセス番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

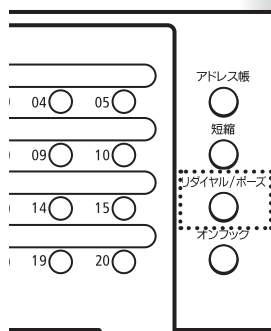
4 ［ ］（リダイヤル/ポーズ）を押す

- ポーズを意味する＜**p**＞が表示されます。
- ポーズ1つにつき2秒間のポーズ時間が設定されます。ポーズ時間を変更するには、「ポーズ時間セット」（→P.66）を参照してください。
- ポーズを連続して入れる場合は、もう一度［ ］（リダイヤル/ポーズ）を押してください。

5 テンキーで国番号、エリア番号、ファクス番号を順に入力する

6 ［ ］（リダイヤル/ポーズ）を押して、［OK］を押す

- ファクス番号のあとに入る末尾のポーズは、10 秒間固定です。

7 ［ ］（スタート）を押してファクスを送信する

ファクス

電話をかけてからファクスを送信する

次のような場合は、手動で送信してください。
- 原稿を送信する前に相手と話したい場合
- 相手先のファクス機が自動受信できない場合

この機能を使うには、本製品に外付け電話機またはオプションのハンドセットをつなげる必要があります。つながっていない環境では、他の電話機を使って通話し、ファクス受信状態への切り替えを依頼します。

1 原稿をセットする（→P.19）

2 ファクスモードに切り替える（→P.16）

3 受話器を取る
- 「プー」という音が聞こえます。

4 相手のファクス番号を入力する

5 相手が電話に出たら、ファクス受信の準備を依頼する

6 「ピー」という音が聞こえたら、[◇]（スタート）を押し、受話器を置く

ファクスを受信する（受信モード）

ファクスの受信には、本製品が自動で応対するものやお客様が手動で応対するものなど、いくつかの方法があります。用途に合わせてファクスの受信方法を選択してください。

（→ P.92）
受信モードについてよくある質問を参照できます。

電話（通話）を使用しますか？

No → **自動受信モード**

「ファクス専用で使用する（自動受信モード）」を参照してください。（→P.60）

Yes ↓

留守番電話機能を使用しますか？

Yes → 留守番電話機をつなげる → **留守TEL接続モード**

「留守番電話機をつなげて使用する（留守TEL接続モード）」を参照してください。（→P.61）

No ↓

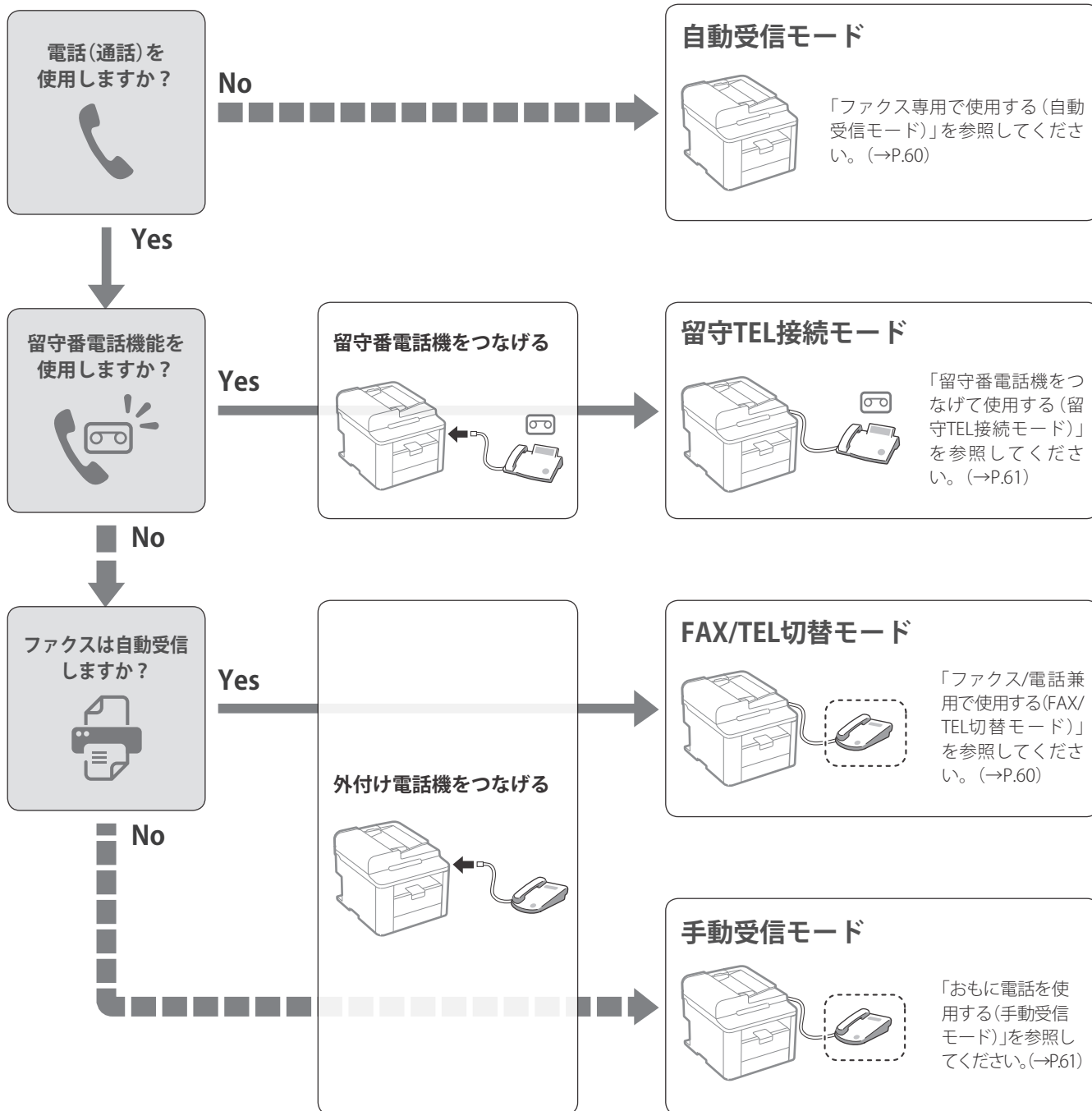
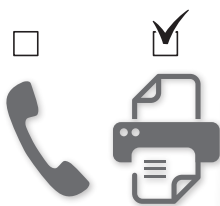
ファクスは自動受信しますか？

Yes → **FAX/TEL切替モード**

「ファクス/電話兼用で使用する(FAX/TEL切替モード)」を参照してください。（→P.60）

外付け電話機をつなげる

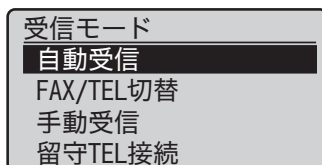
No → **手動受信モード**

「おもに電話を使用する（手動受信モード）」を参照してください。（→P.61）

- 各モードの詳しい動作については、e-マニュアルの「**ファクスを使う**」➡「**受信モードについて**」を参照してください。
- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。
  ファクス機能付きの外付け電話機を接続する場合は、外付け電話機のファクス自動受信を無効にしてください。
- 受信モードが＜**自動受信**＞または＜**FAX/TEL切替**＞の場合は、着信があったときにオプションのハンドセットまたは外付け電話機を鳴らすかどうかを設定できます。また、鳴らす回数も設定できます。
  [ ]（メニュー）➡ ＜**ファクス受信設定**＞ ➡ ＜**受信機能設定**＞ ➡ ＜**着信呼出**＞で設定します。

ファクス専用で使用する（自動受信モード）

受信モードを＜**自動受信**＞に設定して使用してください。

1 ファクスモードに切り替える（→P.16）

2 ［▲］/［▼］で＜**受信モード**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**自動受信**＞を選択し、［**OK**］を押す

ファクスまたは電話の受信時

着信音が2回鳴ったあと、ファクスの場合は自動的に原稿を受信します。電話の場合は、相手にはファクス信号音が聞こえます。

着信音の回数を変更できます。
［ ］（メニュー）➡＜**ファクス受信設定**＞➡＜**受信機能設定**＞➡＜**着信呼出**＞➡＜**ON**＞の手順で選択し、呼出の回数を変更してください。（→P.68）

ファクス／電話兼用で使用する（FAX/TEL切替モード）

受信モードを＜**FAX/TEL切替**＞に設定して使用してください。

1 ファクスモードに切り替える（→P.16）

2 ［▲］/［▼］で＜**受信モード**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**FAX/TEL切替**＞を選択し、［**OK**］を押す

4 必要に応じて詳細設定をする

項目	内容
＜**呼出開始時間**＞	着信してから着信音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間を設定する（4秒〜30秒）
＜**呼出時間**＞	着信音を鳴らす時間を設定する（15秒〜300秒）
＜**音声応答**＞	応答メッセージを流すかどうかを設定する • ＜**OFF**＞：相手方には応答メッセージを流さない • ＜**ON**＞：相手方に応答メッセージを流す
＜**呼出後の動作**＞	呼び出し中に受話器を取らなかったときの動作を設定する • ＜**終了**＞：通信を切断する • ＜**受信**＞：ファクスを受信する

5 設定が終わったら［▲］/［▼］で＜**確定**＞を選択し、［**OK**］を押す

ファクスまたは電話の受信時

着信音が2回鳴ったあと､ファクスか電話かを自動判定します。ファクスの場合には自動的にファクスを受信します。電話の場合には着信音が一定時間鳴り続けるので、つながっている外付け電話機やオプションのハンドセットの受話器を取って通話してください。＜**音声応答**＞を＜**ON**＞に設定した場合、応答メッセージを相手方に流します。

留守番電話機をつなげて使用する（留守TEL接続モード）

受信モードを＜**留守TEL接続**＞に設定して使用してください。

1 ファクスモードに切り替える（→P.16）

2 ［▲］/［▼］で＜**受信モード**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**留守TEL接続**＞を選択し、［**OK**］を押す

ファクスまたは電話の受信時

つながった留守番電話機で受信したあと、相手がファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。相手が電話の場合は、留守番電話機が留守番応答メッセージを流し、相手方の伝言を録音します。

あらかじめ、留守番電話機で自動応答するまでの着信音の回数（1~2回を推奨）をセットし、留守番応答メッセージも録音しておいてください。

おもに電話を使用する（手動受信モード）

受信モードを＜**手動受信**＞に設定して使用してください。

1 ファクスモードに切り替える（→P.16）

2 ［▲］/［▼］で＜**受信モード**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**手動受信**＞を選択し、［**OK**］を押す

ファクス

ファクスまたは電話の受信時

着信音が鳴り続けるので、つながっている外付け電話機やオプションのハンドセットの受話器を取って通話してください。相手がファクスだと「ピー」という音が聞こえます。以下の「受話器を取ったとき「ピー」という音が聞こえたら」を参照して、ファクス受信に切り替えてください。

受話器を取ったとき「ピー」という音が聞こえたら

着信音が鳴っているときに、オプションのハンドセットまたは外付け電話機の受話器を取ると、「ピー」という音が聞こえることがあります。この音は相手がファクス送信中であることを示します。次の手順にしたがって、手動でファクス受信に切り替えてください。

オプションのハンドセットの受話器を取った場合

1 受話器を取って「ピー」という音が聞こえたら、ファクスモードに切り替える

2 [▲]/[▼]で＜**受信スタート**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 受話器を置く

外付け電話機の受話器を取った場合

1 受話器を取って「ピー」という音が聞こえたら、外付け電話機で[2][5]（リモート受信ID）を押す

2 受話器を置く

リモート受信IDは変更できます。
[ ]（メニュー） ➡ ＜**ファクス受信設定**＞ ➡ ＜**受信機能設定**＞ ➡ ＜**リモート受信**＞ ➡ ＜**ON**＞の手順で選択し、リモート受信IDを変更してください。

メモリーを活用してファクスを受信する

ファクスをすぐに印刷しないでメモリーに保存しておくと、受信したファクスの相手を確認し、ファクス文章を出力したり、別の宛先に転送したりできます。

メモリー受信に設定する

1 [ ]（メニュー）を押す

2 [▲]/[▼]で＜**システム管理設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**通信管理設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で＜**メモリー受信設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

5 [▲]/[▼]で＜**ON**＞を選択し、[**OK**]を押す

6 必要に応じて詳細設定をする

＜メモリー受信設定暗証番号＞	メモリー受信設定が他人から変更されないようにしたいときに、7桁の暗証番号を設定する 暗証番号には「0」〜「9」の数字が使用できます。ただし、「0」だけの数字を暗証番号として登録することはできません。
＜レポートプリント＞	メモリー受信状態でファクスを受信したら、受信結果レポートを印刷するように設定する • **＜OFF＞**：受信結果レポートを印刷しない • **＜ON＞**：受信結果レポートを印刷する レポートを印刷するには、＜**受信結果レポート**＞も＜**ON**＞にする必要があります。[◯]（レポート）➡ ＜**仕様設定**＞ ➡ ＜**受信結果レポート**＞ ※ デフォルト値は＜**OFF**＞です。
＜メモリー受信時刻設定＞	特定の時間帯だけメモリー受信するように設定する。開始時刻になると、メモリー受信状態に切り替わる。終了時刻になると、メモリーに受信したファクスが自動的に印刷され、メモリー受信状態が解除される

7 設定が終わったら[▲]/[▼]で＜確定＞を選択し、[OK]を押す

8 [ ]（メニュー）を押して終了する

メモリーの内容を確認／削除／転送する

メモリーに受信したファクスの相手を確認し、印刷する必要がないファクス文書は削除したり、別の宛先に転送したりできます。

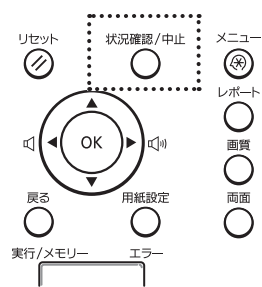
1 [◯]（状況確認/中止）を押す

2 [▲]/[▼]で＜ファクスジョブ状況/履歴＞を選択し、[OK]を押す

3 [▲]/[▼]で＜受信ジョブ状況＞を選択し、[OK]を押す

4 [▲]/[▼]で確認したいファクスのジョブを選択し、[OK]を押す

- 削除するときは、[▲]/[▼]で＜**削除**＞を選択したあと、[◀]で＜**はい**＞を選択し、[**OK**]を押してください。
- 転送するときは、[▲]/[▼]で＜**転送**＞を選択したあと、宛先を指定し、[**OK**]を押してください。

5 [◯]（状況確認/中止）を押して終了する

メモリーの内容をプリントする

オフに切り替えると、メモリーに保存されているファクス文書がすべて印刷されます。

本製品では、特定のファクス文書を選んで印刷する機能がないため、不要なファクス文書は先に削除しておいてください。

1 [ ](メニュー)を押す

2 [▲]/[▼]で＜システム管理設定＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**通信管理設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で＜**メモリー受信設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

5 [▲]/[▼]で＜**OFF**＞を選択し、[**OK**]を押す
- メモリーに保存されているファクス文書が印刷されます。

6 [ ](メニュー)を押して終了する

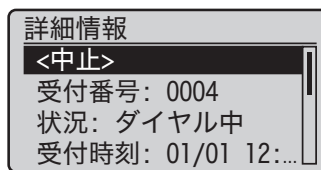
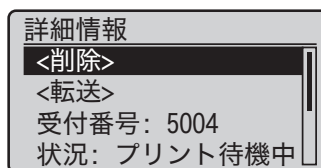
ファクスジョブを確認／中止／転送する

進行中または待機中のファクスジョブを確認、中止または転送できます。

1 [ ](状況確認/中止)を押す

2 [▲]/[▼]で＜**ファクスジョブ状況/履歴**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**送信ジョブ状況**＞または＜**受信ジョブ状況**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で確認したいファクスのジョブを選択し、[**OK**]を押す
- ＜**送信ジョブ状況**＞の場合は、詳細情報の画面から[▲]/[▼]で＜**中止**＞を選択できます。

- ＜**受信ジョブ状況**＞の場合は、詳細情報の画面から[▲]/[▼]で＜**削除**＞または＜**転送**＞を選択できます。（→P.63）

5 [ ](状況確認/中止)を押して終了する

ファクス設定を変更する

ファクスの使用用途に合わせてファクスの送信または受信の設定を変更できます。

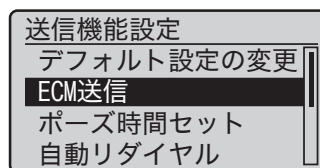
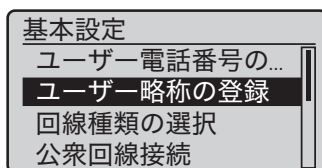
ファクス送信設定を変更する

1 [ ]（メニュー）を押す

2 [▲]/[▼]で＜**ファクス送信設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**基本設定**＞または＜**送信機能設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[**OK**]を押す

- 「ファクスの送信設定の項目」の説明を参照してください。

5 設定値を選択し、[**OK**]を押す

6 [ ]（メニュー）を押して設定を終了する

ファクスの送信設定の項目

設定項目	設定値 太字：工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
＜ユーザー電話番号の登録＞ **＜ユーザー略称の登録＞**		ユーザー名称（会社や個人名など）とファクス番号を登録します。 登録した名称と番号は、発信元記録として相手先の記録紙に印刷されます。
＜回線種類の選択＞	**自動** 手動 - ダイヤル20 PPS、ダイヤル10 PPS、**プッシュ**	ファクスの送信ができない場合は、回線の種類を手動で設定を変更します。 メモ 電話回線の種類がわからないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
＜公衆回線接続＞	**直接接続** アダプタ接続1 アダプタ接続2	受信モードが＜**FAX/TEL切替**＞で、外付け電話機またはオプションのハンドセットをつなげて使用する場合に電話をかけられなかったり、発信音が鳴らなかったりしたときは＜**アダプタ接続1**＞または＜**アダプタ接続2**＞に変更してみてください。
＜オフフックアラーム＞	**OFF** ON - オフフックアラーム音量：**1**～5	ファクス通信終了時に外付け電話機またはオプションのハンドセットの受話器が外れているとき、警告音を鳴らすかどうかを設定します。また、警告音の音量も設定できます。
＜デフォルト設定の変更＞		よく使う設定値をデフォルト値として設定できます。
＜ECM 送信＞	OFF **ON**	ECM（エラー訂正モード）とは、ファクス通信中のエラーを自動的に検知し修正する機能です。ECM 機能を使うと、電話回線の状態が悪い場合でも送信エラーを軽減できます。
＜ポーズ時間セット＞	1 ～**2** ～15（秒）	相手先ファクス番号に入れるポーズの長さを設定します。
＜自動リダイヤル＞	OFF **ON** - リダイヤル回数：1 ～**2** ～15（回） - リダイヤル間隔：**2** ～99（分） - 送信エラー時リダイヤル：OFF, **ON**	自動リダイヤルは、ファクス送信時に相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的にリダイヤルしてファクスを再送信する機能です。 リダイヤルする回数や間隔などを設定できます。
＜発信元記録＞	つけない **つける** - 印字位置：画像の内側、**画像の外側** - 電話番号マーク：**FAX**,TEL	相手先のファクス文書に発信元記録をつけるかどうかを設定します。発信元記録は送信文書の上部に印刷されます。こちらのファクス番号や名前などが印刷されるので、相手先で誰から送信されてきた文書かを確認できます。 送信の日付／時刻　電話番号マーク　ファクス／電話番号（ユーザー電話番号）　発信元略称（ユーザー略称）　ページ数 2012 01/01 02:07 PM FAX 123XXXXXXX CANON 0001/0001
＜送信前のダイヤルトーン確認＞	OFF **ON**	ファクスを送信するときに、発信音を確認してからダイヤルするかどうかを設定します。

ファクス送信機能を制限する

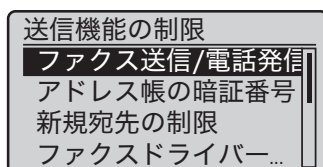
1 [ ](メニュー)を押す

2 [▲]/[▼]で<**システム管理設定**>を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で<**送信機能の制限**>を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[**OK**]を押す

- 「ファクスの送信機能制限の項目」の説明を参照してください。

送信機能の制限
ファクス送信/電話発信
アドレス帳の暗証番号
新規宛先の制限
ファクスドライバー…

5 設定値を選択し、[**OK**]を押す

6 [ ](メニュー)を押して設定を終了する

ファクス

ファクスの送信機能制限の項目

設定項目	設定値 太字:工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<ファクス送信/電話発信の制限>	**OFF** ON - ファクス/電話暗証番号:7桁まで	ファクス送信と電話発信を制限するかどうかを設定します。
<アドレス帳の暗証番号>		アドレス帳に暗証番号を設定します。 暗証番号を設定すると、アドレス帳の宛先を登録/編集/削除する際に設定した暗証番号を入力する必要があります。
<新規宛先の制限>	**OFF** ON	指定できる宛先を登録済みのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに限定します。制限機能を<**ON**>に設定すると、以下の操作はできなくなります。 • テンキーを使って宛先を指定する • アドレス帳/ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに新しい宛先を登録する • アドレス帳/ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに登録済みの宛先を変更する
<ファクスドライバーからの送信を許可>	OFF **ON**	ファクスドライバーを使ったコンピューターからのファクス送信を許可するかどうかを設定します。
<履歴からの送信を制限>	**OFF** ON	[ ](リダイヤル/ポーズ)を押して、履歴から宛先を選択して送信する機能を制限するかどうかを設定します。
<ファクス番号入力時の確認入力>	**OFF** ON	ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかを設定します。ファクス番号を2度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを確認してから原稿を送信することができます。

設定項目	設定値 太字：工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
＜ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認＞	**OFF** ON	ワンタッチキーや短縮ダイヤルを使って宛先を指定する場合、確認画面を表示するかどうかを設定します。
＜同報送信の制限＞	**OFF** 同報送信の確認 同報送信不可	ファクスを送信するときに、複数の宛先に送信する場合の制限を設定します。＜**同報送信の確認**＞を選択すると、送信するときに確認画面が表示されます。＜**同報送信不可**＞を選択すると同報送信ができません。

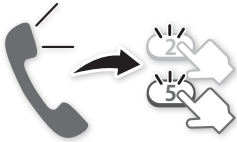
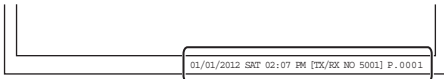
ファクス受信設定を変更する

1 [ ]（メニュー）を押す

2 [▲]/[▼]で＜**ファクス受信設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**受信機能設定**＞または＜**受信プリント設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[**OK**]を押す

- 「ファクスの受信設定の項目」の説明を参照してください。

5 設定値を選択し、[**OK**]を押す

6 [ ]（メニュー）を押して設定を終了する

ファクスの受信設定の項目

設定項目	設定値 太字：工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
＜ECM 受信＞	OFF **ON**	ECM（エラー訂正モード）とは、ファクス通信中のエラーを自動的に検知し修正する機能です。ECM機能を使うと、電話回線の状態が悪い場合でも受信エラーを軽減できます。
＜着信呼出＞	OFF **ON** - 呼出回数： 1 ～**2** ～99（回）	受信モードが＜**自動受信**＞または＜**FAX/TEL切替**＞に設定されている場合、外付け電話機またはオプションのハンドセットを鳴らすかどうかを設定します。また、呼び出し回数も設定できます。 設定した呼び出し回数分の着信音が鳴ったあとは、着信がファクスのときは自動的に受信を開始します。電話のときは、＜**受信モード**＞が＜**FAX/TEL切替**＞の場合のみ、再度外付け電話機またはオプションのハンドセットの着信音が鳴ります。

設定項目	設定値 太字：工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<リモート受信>	OFF **ON** - リモート受信ID： 00 ～**25** ～99	外付け電話機を接続している場合は、電話機によるリモート受信をするかどうかを設定します。<**ON**>にした場合は、受話器を取ったときに「ピー」という音が聞こえたら、お使いの電話機のダイヤルでリモート受信IDを押します。また、リモート受信IDも設定できます。
<自動受信切替>	**OFF** ON - 呼出秒数： 1 ～**15** ～99（秒）	手動受信モードで一定時間電話に出ないときに、自動的にファクスを受信するかどうかを設定します。また、切り替える時間の変更もできます。
<両面記録>	**OFF** ON	受信文書を用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。
<画像縮小>	OFF **ON** - 縮小率：**自動**、97%、 95%、90%、75% - 縮小方向：縦横、**縦のみ**	受信文書の画像を、セットしてある記録紙のサイズに合わせて自動的に縮小したり、決められた倍率で縮小したりすることができます。
<受信情報記録>	**つけない** つける	受信文書を印刷するとき、受付日、受付曜日、受付時刻、受付番号、ページ番号を、原稿のいちばん下に印刷するかどうかを設定できます。 01/01/2012 SAT 02:07 PM [TX/RX NO 5001] P.0001
<トナー残りわずか時の印字継続>	**しない** する	トナーカートリッジが残りわずかになった場合に、受信中の文書の印刷を継続するかどうかを設定します。

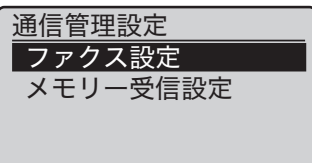
ファクスの通信管理設定を変更する

1 [ ](メニュー)を押す

2 [▲]/[▼]で＜**システム管理設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で＜**通信管理設定**＞を選択し、[**OK**]を押す

4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[**OK**]を押す

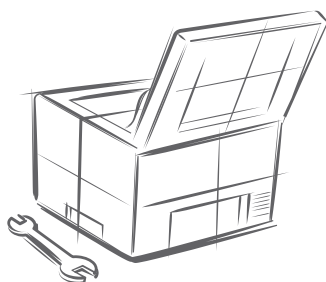
- ＜**ファクス設定**＞を選択した場合は、詳細項目を選択できます。
- 「ファクスの通信管理設定の項目」の説明を参照してください。

5 設定値を選択し、[**OK**]を押す

6 [ ](メニュー)を押して設定を終了する

ファクスの通信管理設定の項目

設定項目	設定値 太字：工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
＜送信スタートスピード＞ ＜受信スタートスピード＞	**33600 bps** 14400 bps 9600 bps 7200 bps 4800 bps 2400 bps	回線の状態が悪く、送信または受信が始まるまでに時間がかかるときは、送信または受信開始スピードを変更します。
＜メモリー受信設定＞	**OFF** ON - メモリー受信設定暗証番号：7桁の番号 - レポートプリント：OFF、**ON** - メモリー受信時刻設定：**指定しない**、指定する	受信した文書は通常すぐに印刷されますが、印刷しないでいったんメモリーに保存しておくことができます。保存した文書はいつでも好きなときに印刷したり、不要な場合は消去したりして、用紙を節約することができます。

メンテナンスと管理

本製品のお手入れやトナーカートリッジの交換方法と、本製品の管理や機能活用に役立つレポート／リストの活用方法を説明します。

日常のお手入れ

本体外部と内部、原稿台ガラスやフィーダーと定着器は定期的に清掃してください。

本製品のお手入れをするときに、ティッシュペーパー、ペーパータオルなどは使わないでください。静電気発生の原因になることがあります。

本体外部と内部のお手入れ

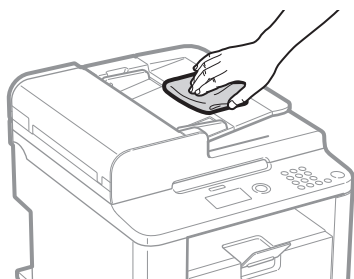
定期的に製品本体の外部と内部を清掃して、トナーの粉や紙ぼこりを取り除いてください。

安全のため、お手入れの前には電源スイッチを切り、本製品につながっているすべてのケーブルを抜いてください。清掃が終わったら本製品に水分が残らないように十分に乾燥させてからケーブルをつなぎ、電源を入れてください。

本体外部のお手入れ

1 電源スイッチを切ってから、すべてのケーブルを抜く

2 フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、原稿を取り除く

3 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って、本体の表面を拭く

4 本体外部が完全に乾燥するまでしばらく待つ

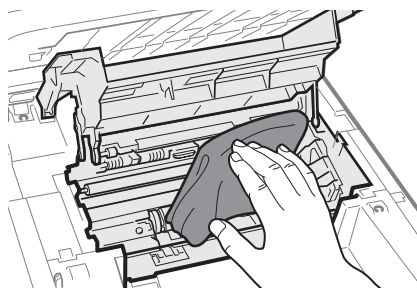
5 すべてのケーブルを元通りに接続してから、電源スイッチを入れる

本体内部のお手入れ

1 電源スイッチを切ってから、すべてのケーブルを抜く

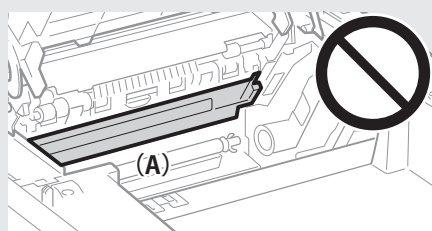
2 フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、原稿を取り除く

3 操作パネル部とトナーカバーを順に開けて、トナーカートリッジを取り出す

4 清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除く

5 トナーカートリッジを取り付ける

6 トナーカバーと操作パネル部を順に閉める

7 すべてのケーブルを元通りにつなげてから、電源スイッチを入れる

注意

操作パネル部をおろすとき
指を挟まないように注意してください。

定着器(A)には触れない
使用中に高温になり、やけどの原因になることがあります。

衣服や手がトナーで汚れないように注意する
衣服や手が汚れた場合は、直ちに冷水で洗い流してください。温水で洗うと汚れがとれなくなることがあります。

定着器のお手入れ

印刷した用紙に黒い線が付いたりトナーが付いたりしたときは、定着器のクリーニングを行ってください。

1 [ ](メニュー)を押す

2 [▲]/[▼]で<**調整/メンテナンス**>を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で<**定着器のクリーニング**>を選択し、[**OK**]を押す

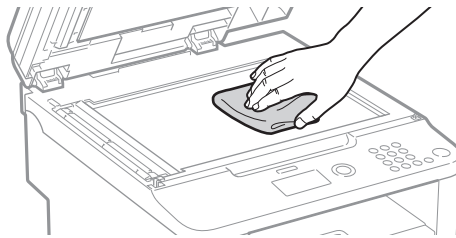
4 給紙カセットにA4サイズの普通紙をセットして、[**OK**]を押す
- クリーニングが開始されます。(約90秒)

5 クリーニングが終わったら[ ](メニュー)を押して画面を閉じる

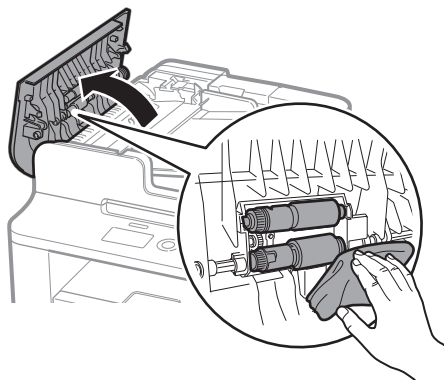
原稿台ガラスとフィーダーのお手入れ

原稿にないしみや点などが読み込まれたら、原稿台ガラスとフィーダー部分を清掃してください。

原稿台ガラスのお手入れ

1. 電源スイッチを切ってから、すべてのケーブルを抜く
2. フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、原稿を取り除く
3. フィーダーを開ける
4. 原稿台ガラスとフィーダーの下を拭く
    - 水を含ませて固く絞った布で拭いたあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

5. フィーダーを閉じる
6. すべてのケーブルを元通りに接続してから、電源スイッチを入れる

フィーダーのお手入れ

1. 電源スイッチを切り、すべてのケーブルを抜く
2. フィーダーからすべての原稿を取り除く
3. フィーダーカバーを開け、水を含ませた布を固く絞って、ローラー部分を拭いたあと、乾いた柔らかい布で拭く

4. フィーダーカバーを閉じる
5. すべてのケーブルを元通りに接続してから、電源スイッチを入れる

トナーカートリッジを確認／交換する

トナーカートリッジは消耗品です。寿命に近づくと、メッセージが表示されたり、印刷結果に白いすじが入ったり、ムラが出たりします。トナーカートリッジの残量をチェックして、必要に応じて交換してください。

＜**トナーが残りわずかです**＞のメッセージが表示されているときは、受信したファクスは印刷されずにメモリーに保存されます。印刷するように設定することもできますが、印刷結果が悪くなる場合があります。
［ ］（メニュー）➡ ＜**ファクス受信設定**＞ ➡ ＜**受信プリント設定**＞ ➡ ＜**トナー残りわずか時の印字継続**＞ ➡ ＜**する**＞の手順で選択します。

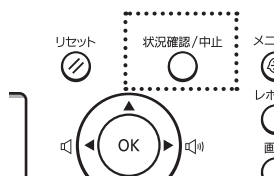
トナーの残量を確認する

1 ［ ］（状況確認/中止）を押す

2 ［▲］/［▼］で＜**デバイス状況**＞を選択し、［**OK**］を押す

3 ［▲］/［▼］で＜**トナー残量**＞を選択し、［**OK**］を押す

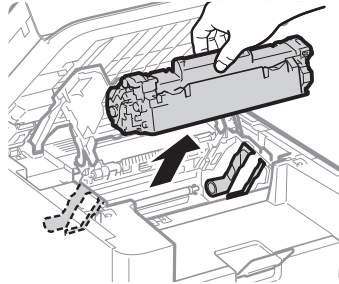
4 トナー残量を確認する
- トナー残量が3段階で表示されます。（＜**良好**＞、＜**少ない**＞、＜**残りわずか**＞）

5 ［ ］（状況確認/中止）を押して画面を閉じる

トナーカートリッジを交換する前に

トナーカートリッジを交換する前に内部のトナーを均一にならすように振ると、トナーが完全になくなるまで、しばらくの間印刷できることがあります。

1 操作パネル部とトナーカバーを順に開けて、トナーカートリッジを取り出す

⚠ **注意**

肌や衣服がトナーで汚れたら、直ちに冷水で洗い流してください。温水で洗うと、汚れがとれなくなることがあります。

2 トナーカートリッジを5 ～6回振って、内部のトナーを均一にならす

3 トナーカートリッジを取り付ける

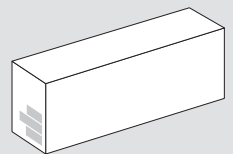
4 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジを交換する時期になったら、本製品をお買い求めの販売店、またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

メモ

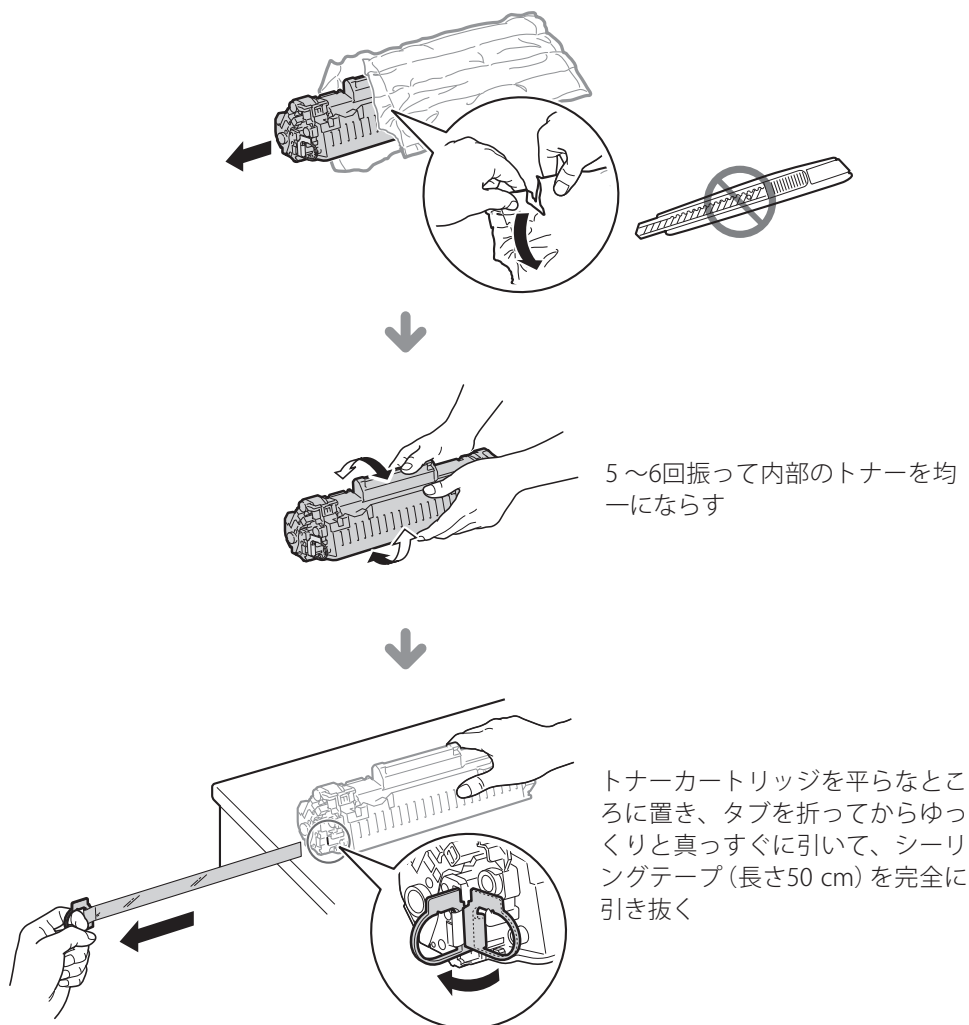
対応するキヤノン純正トナーカートリッジ

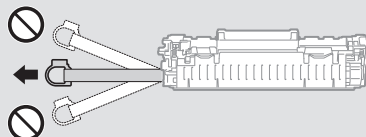
Canon Cartridge 328（キヤノン　カートリッジ　３２８）

1 操作パネル部とトナーカバーを順に開けて、トナーカートリッジを取り出す

2 新しいトナーカートリッジを準備する

- 保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本製品のメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り外したときに必要になります。

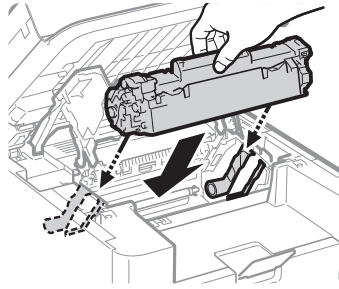
5 ～6回振って内部のトナーを均一にならす

トナーカートリッジを平らなところに置き、タブを折ってからゆっくりと真っすぐに引いて、シーリングテープ（長さ50 cm）を完全に引き抜く

シーリングテープを引き抜くときの注意事項

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っぱらないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープが途中で引っかかっても、最後まで完全に引き抜いてください。
- シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。ファクスをご使用の場合は、受信データは一度印刷すると消去されるため、再度印刷することができませんのでご注意ください。

取り外したシーリングテープについて

- 地域の条例にしたがって処分してください。

3 トナーカートリッジを取り付ける

4 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす

警告

使用済みのトナーカートリッジを火中に投じない

トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

トナーをこぼした場合の対処

トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。

掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

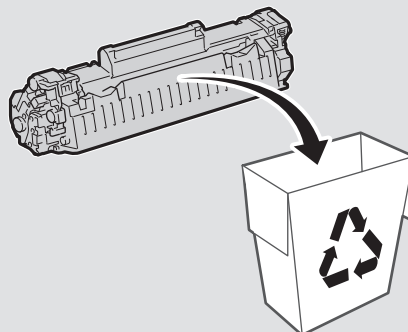
注意

トナーが手や衣服についた場合の注意

直ちに冷水で洗い流してください。温水で洗うと、汚れがとれなくなることがあります。

トナーが飛び散らないように注意

シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりしないでください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに冷水で洗い流し、医師と相談してください。

- 使用済みのトナーカートリッジは、リサイクルのため回収を推進しています。資源として再利用できるよう回収にご協力ください。詳しくはe-マニュアルの「**安全にお使いいただくために**」➡「**資源再利用について**」を参照してください。

- トナーカートリッジの取り扱い方法についての詳しい内容はe-マニュアルの「**メンテナンス**」➡「**トナーカートリッジを交換する**」を参照してください。

レポート／リストを使って管理する

ファクスの通信状態、アドレス帳の保存状態、各種の設定値を印刷し、本製品の設定状態のチェックが行えます。

1 [◯]（レポート）を押す

2 [▲]/[▼]で<**リストプリント**>を選択し、[**OK**]を押す

3 [▲]/[▼]で印刷するレポートやリストを選択し、[**OK**]を押す

<アドレス帳リスト>	アドレス帳（短縮ダイヤル、ワンタッチ、グループ）に保存した番号
<ユーザーデータリスト>	設定値の一覧や、本製品の情報
<通信管理レポート>	ファクス通信の履歴

4 画面に表示された手順にしたがって、印刷する

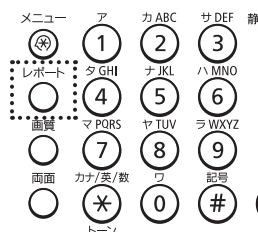
5 [◯]（レポート）を押して終了する

メモ

- ファクスの送信時や受信時にエラーが発生すると、レポートが印刷されます。レポートに表示されたエラーコードを確認して対処してください。（→P.88）

受付番号	0123
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0123456789
相手先略称	name
開始時刻	01/01 02:07 PM
通信時間	01'15
枚数	1
通信結果	NG
	#018 話し中でした

エラーコード

- 自動出力されるレポートを出力しないようにするには、上記の手順2で<**仕様設定**>を選択し、設定してください。詳しい内容はe-マニュアルの「**基本操作**」➡「**レポートの自動出力を設定する**」を参照してください。
- レポートまたはリストは、11ページ目からは印刷されません。

困ったときには

紙づまりが起きたときや、トラブルが解決しないときなどの対処方法について説明します。

原稿や用紙がつまったら

原稿や用紙がつまったら、画面に<**用紙がつまりました。**>と表示されます。画面に表示された手順にしたがって、つまった原稿や用紙を取り除いてください。

> 用紙がつまりました。
> [▶] キーで次の手順
> を表示します。 ▶

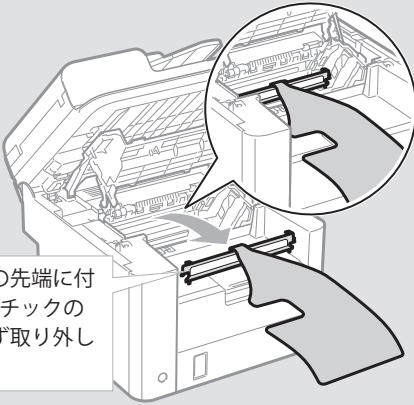
警告

つまった原稿や用紙を取り除くとき
原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。

つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するとき
ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。

注意

手や衣類にトナーが付着した場合
冷水で洗ってください。温水で洗うと、落ちなくなります。

つまった原稿や用紙を取り除くとき
紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。

用紙が破れた場合
紙片が残らないように、すべて取り除いてください。

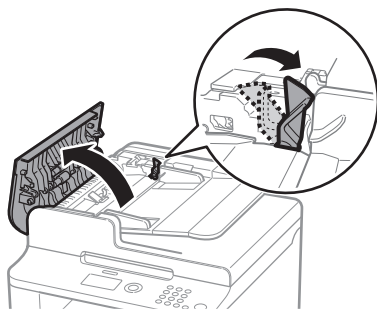
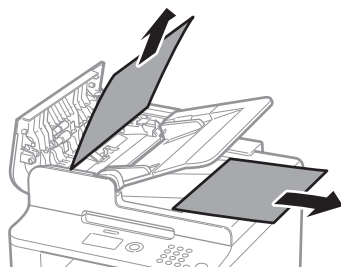
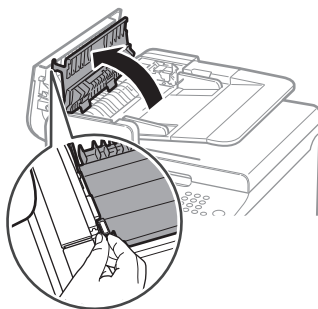
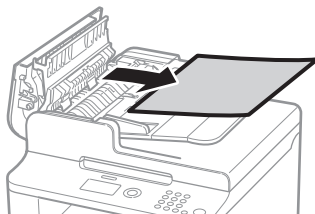
紙づまりが繰り返し起こる場合
以下を確認してください。

- 以下の用紙付き保護部材が取り外されているかを確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所で揃えてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか確認してください。（→ P.22）
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

原稿がつまったら

フィーダーにセットされている原稿を取り出したあと、次の手順にしたがって、つまった原稿を取り除いてください。

1 フィーダーカバーを開け、圧解除レバーを上げる

2 原稿をゆっくり引っぱって取り除く

3 緑色のつまみを持って、中カバーを開ける

4 原稿をゆっくり引っぱって取り除く

5 中カバーを閉める

6 圧解除レバーを元の位置に戻し、フィーダーカバーを閉める

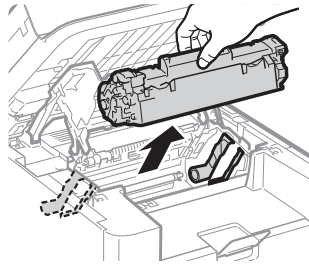
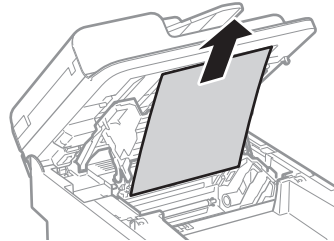
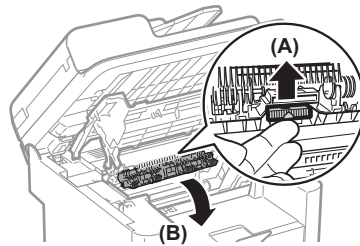
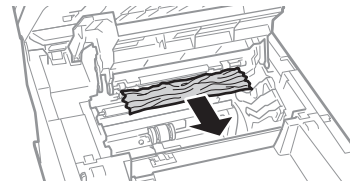
7 原稿をフィーダーにセットする

内部に用紙がつまったら

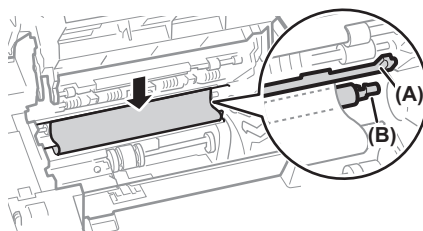
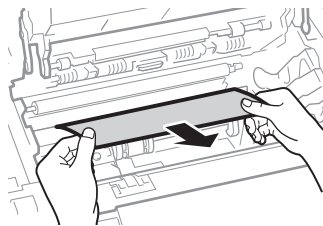
次の手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。

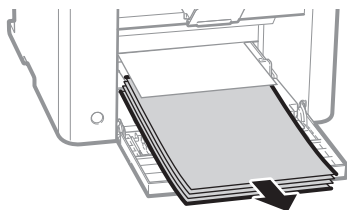
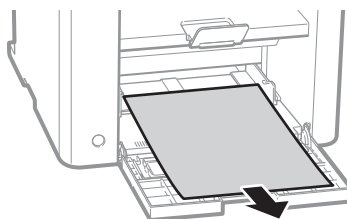
Step 1 内部につまった用紙を確認し、取り除く

1 操作パネル部とトナーカバーを順に開ける

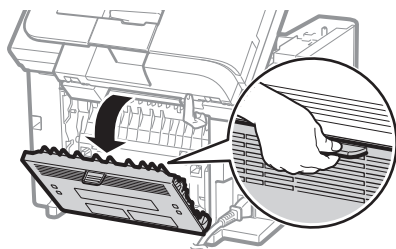
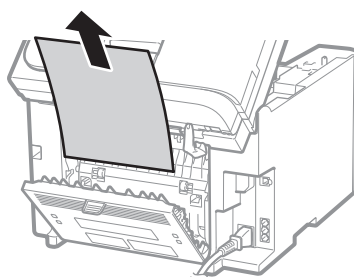
2 トナーカートリッジを取り出す

3 用紙をゆっくり引っぱって取り除く

4 緑色のボタン(A)を押しながら、排紙ガイド(B)を手前に引き出して開ける

5 用紙をゆっくり引っぱって取り除く

6 排紙ガイドを持ち上げて、確実に閉める

- 排紙ガイドの両端が閉まっていることを確認してください。

7 定着器（A）とローラー（B）の間につまった用紙を、先端が見えるまで下方向にゆっくり引き出す

8 用紙の先端が出たら、つまった用紙の両端を持って、ゆっくり引っぱって取り除く

Step 2 給紙カセットでつまった用紙を確認し、取り除く

1 前カバーを開けて、カセットの中の用紙を取り除く

2 つまった用紙をゆっくり引っぱって取り除く

3 カセットに用紙を入れ、前カバーを閉める

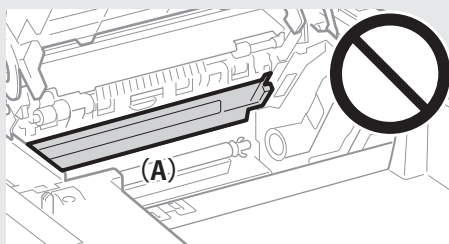
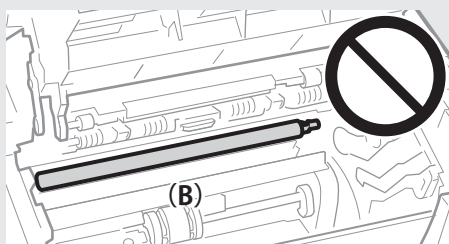
Step 3 後ろカバーでつまった用紙を確認し、取り除く

1 後ろカバーを開ける

2 用紙をゆっくり引っぱって取り除く

3 後ろカバーを閉める

Step 4 操作パネル部をおろして、印刷可能な状態にする

1 トナーカートリッジを取り付ける

2 トナーカバーを閉めてから操作パネル部をおろす

⚠ 注意

定着器(A)には触れない
使用中に高温になり、やけどの原因になることがあります。

転写ローラー(B)には触れない
本製品を損傷することがあります。

メッセージが表示されたら

メモリー、用紙、トナーに関するメッセージの一部を説明します。

本書で説明していないメッセージはe-マニュアルの「**トラブルシューティング**」➡「**メッセージが表示されたら**」を参照してください。

メッセージ	対処方法
<ﾒﾓﾘｰがいっぱいのため読み込みを中止します ﾌﾟﾘﾝﾄしますか?>	1. 読み込まれたページまで印刷するか、印刷を中止するか選択してください。 2. 原稿を少量ずつ分けてコピーするか、<**原稿の種類**>を変更してコピーしてください。 原稿の種類は<**写真→・・・→文字**>の順で変更してください。
<ﾒﾓﾘｰがいっぱいです。>	1. 送信または印刷待ちの文書がある場合は、処理が終了するまでお待ちください。 2. 原稿を少量ずつ分けて送信するか、<**解像度**>を下げて送信してください。（→P.51）
<用紙なし: カセット1>	画面に表示されている用紙をセットしてください。（→P.22）
<用紙と設定ｻｲｽﾞが不一致>	• セットされている用紙に合わせて<**用紙設定**>を変更してください。（→P.26） • プリンタードライバーからプリントしているときは、コンピューター側で用紙の設定が正しいかどうかも確認してください。
<ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞを準備してください。>	トナーカートリッジの交換時期が近づいていますので、交換用のトナーカートリッジを準備してください。（→P.76）
<トナーが残りわずかです>	トナーを均一にならすと、しばらくの間使用することができます。繰り返し表示される場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。（→P.75） ※ ファクス受信中に表示された場合は、印刷されずにメモリーに保存されます。 ※ レポートの自動出力を設定していても、印刷されません。
<ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞを確認してください。>	トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。 ※ キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない場合に、このメッセージが表示されることがあります。
<ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞをｾｯﾄしてください。>	トナーカートリッジをセットしてください。

レポートにエラーコードが表示されたら

エラーが発生した場合は、レポートが印刷されます。レポートに表示された3桁のエラーコードの原因を確認し、処置方法にしたがって問題を解決します。

エラーコード	原因	処置
#001	原稿がつまっている可能性がある。	つまっている原稿を取り除いてください。
#003	データ量が大きすぎるため、送信／受信できなかった。	送信時 • 読み取り時の解像度を下げて送信してください。 受信時 • 読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよう、相手先に連絡してください。
#005	相手先が35秒以内に応答しなかった。	もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。
	相手先のファクスがスーパーG3*ファクスでない可能性がある。 *スーパーG3とは ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）が標準化したファクスの国際規格の1つで、アナログ電話回線用のもの。	相手先に確認し、スーパーG3ファクスに送信してください。相手先がスーパーG3ファクスを持っていない場合は、相手先のファクスが対応している通信モードを使って送信しなおしてください。
#012	相手先の記録紙がなくなったため送信できなかった。	相手先に用紙を補給してもらうよう連絡してください。
#018	相手が通話中などで送信できなかった。	しばらく待ってからもう一度やりなおしてください。それでも送信できない場合は、相手先のファクスの電源が入っているかどうか確認してもらってください。
	相手先との設定不一致のため送信できなかった。	相手先が通信可能な状態であることを確認して、もう一度やりなおしてください。
	海外へファクス送信するときにポーズを挿入しなかった。	国番号または宛先のファクス番号のあとにポーズを挿入し、もう一度ダイヤルしてください。ワンタッチに登録済みの宛先に送信するときは、詳細設定画面で国際送信設定を変更してください。
#022	コンピューターからのファクス送信が制限されている。	制限を解除する必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。または e-マニュアルの「**セキュリティー**」➡「**コンピューターからのファクス送信を制限する**」を参照してください。

エラーコード	原因	処置
#037	メモリーがいっぱいになっている。	メモリーに保存されているデータを印刷／送信／削除してください。
	メモリーの容量以上のデータサイズである。	データの解像度を下げるまたはファイル形式を変更するなどして、容量を小さくしてください。
#099	実行中のジョブをユーザー操作で中止した。	必要に応じてジョブをやりなおしてください。
#995	送信待機中または受信待機中のジョブをユーザー操作で中止した。	必要に応じてジョブをやりなおしてください。

プリント結果がよくないときには

印刷結果の改善のため、それぞれの症状に推奨された処置を行ってください。

- 下記に記載の方法で解決できない場合は、e-マニュアルの「**トラブルシューティング**」をご覧ください。
- 特殊モードの設定に方法については、e-マニュアルの「**メンテナンス**」➡「**特殊モード一覧**」を参照してください。

症状	例	処置
用紙がカールする		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.22) • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • 用紙が正しくセットされているか確認してください。(→P.22) • 操作パネルで＜**特殊モードV**＞の設定を変更してください。
用紙がしわになる		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.22) • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • 用紙が正しくセットされているか確認してください。(→P.22) • 本体内部の異物の有無を確認してください。 • 操作パネルで＜**特殊モードV**＞の設定を変更してください。
印字ムラが出る		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.22) • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • 用紙が正しくセットされているか確認してください。(→P.22) • トナー残量を確認してください。(→P.75) • 操作パネルで＜**特殊モードJ**＞の設定を変更してください。
白く抜ける		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.22) • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • トナーカートリッジを交換してください。(→P.76) • 濃度が濃い文書の場合は、プリンタードライバーで濃度を調節してください。 ([**仕上げ**]タブ→[**処理オプション**]→[**特殊印字処理**]の順に選択し、[**特殊設定2**]を選択)
トナーが手に付着する		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.22) • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • 用紙のサイズと種類が正しく設定されているか確認してください。(→P.26) • 操作パネルで＜**特殊モードK**＞の設定を変更してください。

症状	例	処置
すじ状の汚れが付く		• 未開封の新しい用紙に交換してください。 • トナーカートリッジを交換した、または印刷を長時間行わなかった場合は、操作パネルで<**特殊モードB**>の設定を変更してください。 • コピーの場合は、操作パネルで<**特殊モードZ**>か<**特殊モードD**>の設定を変更してください。 • ファクス受信の場合は、操作パネルで<**特殊モードZ**>か<**特殊モードC**>の設定を変更してください。 • コンピューターからの印刷の場合は、操作パネルで<**特殊モードD**>の設定を変更するか、プリンタードライバーの［**特殊印字モード**］の設定を変更してください。
文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く		• 使用可能な用紙かどうか確認してください。（→P.22） • 未開封の新しい用紙に交換してください。 • 操作パネルで<**特殊モードU**>の設定を変更してください。
印字が全体的に黒ずむ		• コピー時の濃度の設定を確認してください。（→P.31） • 本製品が直射日光の当たる場所に設置されていたら、本製品を移動してください。
用紙の後端やその後続紙が汚れる		• データの周囲に余白を作ってください。
ページの一部が印刷されない		• データの周囲に余白を作ってください。
プリントしたバーコードが読み取れない		• プリンタードライバーで特殊印字処理の設定を変更してください。（［**仕上げ**］タブ→［**処理オプション**］→［**特殊印字処理**］の順に選択し、［**特殊設定1**］を選択）

故障かな？と思ったら

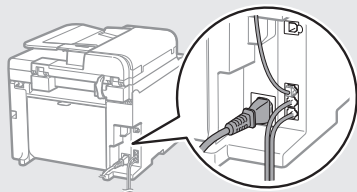
次の手順にしたがって、問題が解決するかどうか確認してください。

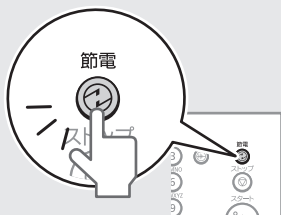
警告

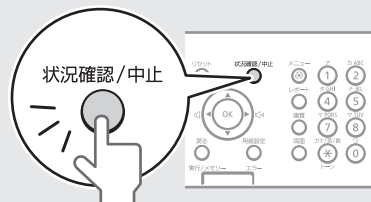
本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合

すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

ご自分で分解修理した場合は、保証の対象外になることがあります。

Check 1 ケーブルが正しく接続されているか、電源が入っているか確認する（かんたん設置ガイドを参照）

Check 2 節電モードになっているか確認する（→P.28）

- ［**節電**］キーが点灯していたら、［**節電**］キーを押して節電モードを解除する

Check 3 ［状況確認/中止］キーを押して本製品の状態を確認する

- 進行中のジョブがある場合は、終了するまで待つ

Check 4 エラーランプが点灯または点滅しているか？

- 用紙のセット状態を確認する（→P.22）
- 紙づまりが発生しているか確認して、発生していれば取り除く（→P.82）
- 電源を切り、10秒後に電源を入れなおす

Check 5 メッセージが表示されているか？

- メッセージの内容を確認して対処する（→P.87）

解決しなかったら

e-マニュアルの「トラブルシューティング」を確認するか、キヤノン公式ホームページのサポートで提供するQ&Aを検索して確認する

解決しなかったら

お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」に連絡する

ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名
- シリアル番号
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
お客様相談センター（全国共通番号）　050-555-90055
※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9331をご利用ください。

FAQ

Q　ファクス受信時に着信音を鳴らさないようにできますか？

A　FAX/TEL切替モードをお使いの場合のみ、ファクスの着信音を鳴らさないようにできます。
ファクスの着信音を鳴らさないようにするには、[ ](メニュー) ➡ <**ファクス受信設定**> ➡ <**受信機能設定**> ➡ <**着信呼出**> ➡ <**OFF**>を押します。

Q　FAX/TEL切替モードを使用していますが、着信音が鳴っている時間が短いため電話に応答できないことがあります。どうすれば着信時に着信音を鳴らす時間を長くすることができますか？

A　ファクスモード画面で<**受信モード**> ➡ <**FAX/TEL切替**> ➡ <**呼出時間**>を選択して［**OK**］を押したあと、着信音を鳴らしたい時間(秒)を設定してください。

Q　留守番電話機が本製品に接続されている場合、どうすれば着信時のみ留守番機能を起動できますか？

A　ファクス受信モードを<留守TEL接続>に設定した上で、着信音が1 ～2回鳴ったあとに留守番機能が起動するように設定してください。
着信音が最低2回鳴ったあとに留守番機能が起動するように留守番電話機で設定されている場合、本製品は留守番機能が起動する前にファクス信号を認識します。
着信音の回数を変更する場合の詳細については、留守番電話機に付属の取扱説明書を参照してください。

Q　ファクス機能付きの外付け電話機が本製品と接続されている場合に、外付け電話機ではなく本製品でファクスを受信したい。

A　ファクス受信モードを<FAX/TEL切替>に設定して、外付け電話機のファクス機能を無効にしてください。
本製品と外付け電話機のファクス機能がどちらも有効に設定されている場合、最初にファクス信号を認識した機器がファクスを受信します。常に本製品でファクスを受信したい場合は、外付け電話機のファクス機能を無効にしてください。
詳細については、外付け電話機に付属の取扱説明書を参照してください。

停電のときには

電力供給が止まっている間、本製品は使用できません。

停電時のファクス機能について

- 原稿を送受信できません。
- 外付け電話機で電話をかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機で電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

電源供給が止まったときのデータ保存

停電の発生や電源コードが誤って抜けるなどが原因で電源供給が止まっても、メモリーに蓄積されていた送受信データは保存されています。

内蔵バッテリーの充電について

内蔵バッテリーを完全に充電するには電源を入れてから約 24 時間かかります。

充電が不十分だとメモリー内にデータがきちんと保存されない場合があります。

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、本書とe-マニュアルの「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

ここに書かれている警告や注意、重要事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。

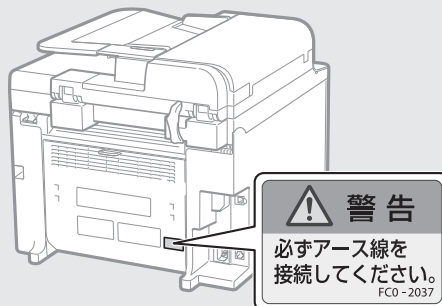
本書の記載にしたがわない使いかたをする、不適切な使いかたをする、弊社以外の第三者または弊社指定以外の第三者によって修理／変更する、などによって生じた損害の責任は負いかねますのでご了承ください。

設置について

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
- アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。
  万一、内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。
  - 不安定な場所
  - 振動のある場所雨や雪が降りかかるような場所
  - 通風口をふさぐおそれのある場所（壁の近く、ベット・ソファー・毛足の長いじゅうたんの上など）
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 屋外や直射日光の当たる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
  - 風通しの悪い場所
- 使用中はオゾンなどが発生しますが、人体に影響ありません。ただし、長時間使用したり大量にプリントしたりする場合は、快適な作業環境を保つために換気してください。
- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- ハードディスクを搭載している製品は、高地（海抜3000m以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

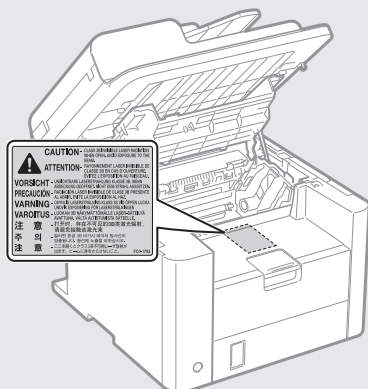
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っぱる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コンセントのアース線端子*に、アース線を接続してください。万一、漏電した場合は感電の恐れがあります。
  * アース線専用端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース線端子に接続します。

- 次の場所には絶対に接続しないでください。
  - 水道管･･･配管の一部がプラスティックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管は除きます。
  - ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になります。

- 表示以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

取り扱いについて

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険です。
- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危険です。
- 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。

注意

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するとき手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続プリントした場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- フィーダーと操作パネル部は、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナーユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - 取扱説明書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - レーザースキャナーユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  - 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。
- 取扱説明書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。
- この製品はIEC60825-1:2007 においてクラス1 レーザー製品であることを確認しています。

保守／点検について

警告

- 清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。
  掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。
  掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は、幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり、皮膚に付着しないよう注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って洗い流してください。また、トナーを吸い込んだ場合や、皮膚に刺激が残る場合は直ちに医師に相談してください。

その他

警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
  本機からは微弱な磁気を発生しています。万一、身体に異常を感じたら本機からすぐに離れ、医師にご相談ください。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制にしたがって、以下の( )内の名称で登録されている場合があります。
Canofax L410 (F164302)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

- 著作物など

  他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

- 通貨、有価証券など

  以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

  - 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
  - 国債証券、地方債証券
  - 郵便為替証書
  - 郵便切手、印紙
  - 株券、社債券
  - 手形、小切手
  - 定期券、回数券、乗車券
  - その他の有価証券

- 公文書など

  以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

  - 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
  - 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
  - 役所または公務員の印影、署名または記号
  - 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon　キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90055

［受付時間］　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-4640　(010)

XXXXXXXXXX

PRINTED IN KOREA